

Toast[®] 6 Lite

クイックスタート ガイド

法律に関する情報

© 1994-2003 Roxio, Inc. All rights reserved. このパッケージに含まれる各使用許諾契約書のすべての要項に同意する場合に限り、本製品の使用を許可するものとします。

商標

Roxio のロゴ、トースターとディスクのロゴ、ToastAnywhere、Toast It、Plug & Burn は Roxio, Inc の商標であり、一部の法域において登録されている場合があります。Roxio、CD を焼いているロゴ、Toast、CD Spin Doctor は、米国あるいは他国において登録済みの Roxio, Inc. の商標です。本製品は、www.roxio.com/en/patents に記載されている特許によって保護されている場合があります。

第三者の商標

Mac ロゴ、Macintosh、Power Macintosh、Mac、QuickTime、iTunes は、米国あるいは他国において登録済みの Apple Computer, Inc. の商標です。iMovie、iPhoto、Rendezvous、iDVD は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Windows は Microsoft, Inc. の登録商標です。

MPEG Layer-3 オーディオ圧縮テクノロジーは、Coding Technologies、Fraunhofer IIS、および THOMSON マルチメディアがそのライセンスを保持します。



オーディオエフェクトエンジンは、Algorithmix (www.algorithmix.com) がそのライセンスを保持します。



ADVANCED DSP TECHNOLOGIES

VST プラグインテクノロジーは Steinberg により開発されています。

一部は nanoPEG テクノロジーに基づいています。Copyright © 2003 nanocosmos.

Discus は Magic Mouse Productions の登録商標です。

音楽識別テクノロジーと関連データは、Gracenote と Gracenote CDDDB® Music Recognition ServiceSM によって提供されています。Gracenote は音楽識別テクノロジー

と関連するコンテンツ配信においての業界標準です。詳しくは www.Gracenote.com をご覧ください。

Gracenote は CDDB, Inc. の商号です。CD and music-related data from Gracenote CDDB® Music Recognition ServiceSM © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB2 Client Software © 2000-2003 Gracenote. 米国特許番号 5,987,525、6,061,680、6,154,773、およびその他の特許申請中。

CDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote ロゴおよびロゴタイプ、Gracenote CDDB ロゴおよびロゴタイプ、Powered by Gracenote CDDB ロゴは、Gracenote の商標です。Music Recognition Service および MRS は、Gracenote のサービスマークです。



改訂

本ドキュメントの内容は情報の提供を目的としており、予告無く変更する場合があります。本ドキュメントの正確な情報を保証するため適切な努力がなされていますが、Roxio Inc. は、本ドキュメントの誤記、内容の欠落、あるいは本書を運用した結果について一切責任を負いません。

Roxio は、無条件に、ユーザに通知することなく製品設計を変更する権利を有します。

免責事項

本製品を使用して素材を物理的に複製する場合、法律に違反して損害または他の賠償責任が生じないように、著作権の所有者から複製の許可を得る必要があります。

目次

クイックスタート

1	はじめに	3
	Toast について	4
	詳しい情報を見るには	4
	システム要件	4
	Toast 6 Lite をインストールする	5
	Toast のメインウィンドウについて	5
	レコーダをセットアップしてオンにする	9
	使用するメディアの種類を選択する	9

2	Toast の基本	11
	Toast によるディスク作成の概要.....	12
	レコーダを選択する.....	12
	レコーダ設定を変更する.....	13
	Toast プロジェクトを保存する、および開く.....	16
	コンテンツ領域の項目を消去する.....	16
3	一般的な機能について	17
	レコーダをネットワーク上で共有する (ToastAnywhere).....	18
	デスクトップからファイルやフォルダを Toast へ送信する (Toast It).....	20
	書換可能ディスクを消去する.....	21
	ディスクを取り出す.....	21
	Toast 環境設定を設定する.....	22
	ディスクの詳細情報を見る.....	22
4	高度な機能について	25
	マルチセッションディスクを作成する.....	26
	プロジェクトをイメージファイルとして保存する.....	27
	イメージファイルをデスクトップにマウントする.....	28
	テンポラリ・パーティションを作成する.....	28
	2つのファイルまたはフォルダのコンテンツを比較する.....	30

データ

5 データディスクを作成する 35

データディスクとは？	36
データディスク作成の概要	36
データディスクの作成を開始する	37
データディスクの設定を変更する	37
データディスクにファイルまたはフォルダを追加する	38
データディスク内のファイルやフォルダを編集する	39
データディスクを書き込む	41

6 データ機能を使用する 43

どのバージョンの Mac OS でディスクを読み込めるようにするか設定する	44
Mac Only データディスクを圧縮する	44
Mac Only データディスクを暗号化する	45
データディスクをコピーする	46
自動的に定期バックアップを行う	47
高度なデータディスクを作成する	47

オーディオ

7 オーディオ CD を作成する 51

オーディオ CD とは?	52
オーディオ CD 用のメディアを選択する	52
オーディオ CD 作成の概要	53
新規オーディオ CD の作成を開始する	53
オーディオ CD フォーマットを選択する	54
オーディオ CD にオーディオファイルを追加する	54
オーディオ CD のファイルを編集する	56
オーディオ CD を書き込む	60

8 MP3 ディスクを作成する 61

MP3 ディスクとは?	62
MP3 用のディスクメディアを選択する	62
MP3 ディスク作成の概要	63
新規 MP3 ディスクの作成を開始する	63
MP3 ディスクフォーマットを選択する	64
MP3 ディスクに MP3 ファイルまたはフォルダを追加する ...	64
MP3 ディスクの MP3 ファイルを編集する	65
MP3 ディスクを書き込む	67

9 オーディオ機能を使用する 69

異なるソースからオーディオを書き出す	70
オーディオディスクをコピーする	72
レコードまたはカセットテープをデジタル化する	72
高度なオーディオディスクを作成する	73

ビデオ / 写真

10 ビデオディスクを作成する 77

ビデオディスクとは？	78
ビデオディスク用のメディアを選択する	78
ビデオディスクのメニューとボタンを理解する	78
ビデオディスク作成の概要	79
ビデオディスクの作成を開始する	80
ビデオディスクの設定を変更する	80
ビデオまたはスライドショーをビデオディスクに追加する	82
ビデオコンテンツ領域のビデオファイルを編集する	86
ビデオコンテンツ領域のスライドショーを編集する	88
ビデオディスクのコンテンツを編集する	90
ビデオディスクを書き込む	91

11 DV カメラ (Plug & Burn) からビデオを読み込む 93

Plug & Burn とは？	94
クイック Plug & Burn	95
その他の Plug & Burn の使用方法	96
DV カメラをコンピュータに接続する	97
ビデオ再生コントロールを使用してテープの開始位置を指定する	98
DV カメラのビデオを Toast に読み込む	98
読み込み後にビデオプロジェクトを完了する	99

12 ビデオ機能を使用する 101

ビデオを既存のビデオディスクから書き出す	102
ビデオディスクのメニューを作成する、しないを切り替える	102
ビデオディスクをコピーする	103
Motion Pictures を使用する	103
高度なビデオディスクを作成する	104

コピー

13 ディスクをコピーする 107

ディスクコピーの概要	108
1つのレコーダでディスクをコピーする	108
2つのドライブでディスクをコピーする	109
イメージファイルをディスクにコピーする	110
高度なコピー機能を使う	111

索引 113

クイックスタート

1	はじめに	3
2	Toast の基本	11
3	一般的な機能について	17
4	高度な機能について	25

はじめに

本章の内容

Toast について	4
詳しい情報を見るには	4
システム要件	4
Toast 6 Lite をインストールする	5
Toast のメインウィンドウについて	5
レコーダをセットアップしてオンにする	9
使用するメディアの種類を選択する	9

Toast について

Toast® は数々の賞を受賞した CD/DVD ライティングソフトウェアです。Toast の主な機能は次の通りです。

- データを CD または DVD に保存
- オーディオまたは MP3 ディスクの作成
- ビデオ CD (VCD)、スーパービデオ CD (SVCD)、DVD の作成
- ディスクのバックアップコピーを作成

Toast には他にも数多くの機能があります。Toast を最大限に活用していただくため、本ガイドを最後までご覧ください。

詳しい情報を見るには

本ガイドでは、Toast の基本部分と一般的な機能について説明しています。さらに高度な機能については、指示されている箇所ならびに Toast ヘルプ全体を通してご覧いただけます。

Toast ヘルプへアクセスするには [ヘルプ] メニューから [Toast ヘルプ] を選択します。

詳しくは [ヘルプ] メニューから [製品サポート] を選択してご覧ください。

システム要件

Toast には以下のシステム環境が必要です。

- PowerPC G3 以降のプロセッサ搭載の Macintosh® コンピュータ
- Mac OS X v10.2 以降
- 200 MB のハードディスク空き容量
- デジタルビデオ 10 分につき約 2GB 必要
- QuickTime® 6 以上
- CD または DVD レコーダ (ToastAnywhere™ を使う場合はオプション)

Toast 6 Lite をインストールする

Toast をインストールするには：

- 1 Toast CD をドライブに挿入します。
 Roxio Toast 6 Lite フォルダがデスクトップに表示されます。
- 2 Roxio Toast 6 Lite フォルダを、ハードディスク内の Toast をインストールしたい場所にドラッグします。
- 3 新しい場所で Toast をダブルクリックして起動します。
- 4 画面の指示に従って、はじめて Toast を使うためのセットアップを行います。
 画面で使用許諾書に同意するよう求められます。

Toast のメインウィンドウについて

Toast のメインウィンドウには以下のコンポーネントが含まれています。

- **ディスタブ**：作成したいディスクタイプをクリックして選択します。
- **コンテンツ領域**：ディスクに書き込むファイルが表示されます。
- **書き込みボタン**：このボタンをクリックすると、コンテンツ領域にあるファイルのディスクへの書き込みを開始します。
- **ディスクオプション設定画面**：この画面では、作成するディスクタイプごとに環境設定を変更することができます。



Toast メイン
 ウィンドウ

データ、オーディオ、ビデオ、コピータブ

異なるタイプのディスクを簡単に作成することができます。作成するディスクのタブをクリックすると、それぞれ異なる処理を行うことができます：



- **データタブ**：ファイルの保管やバックアップ用に、すべての種類のファイルやフォルダをディスクに保存します。ディスクは、Macintosh や PC、またはすべてのコンピュータで使用できるよう作成できます。37 ページの「データディスクの作成を開始する」をご覧ください。
- **オーディオタブ**：コンピュータ、MP3 プレーヤ、または家庭用ステレオやカーステレオで再生するオーディオ CD や MP3 ディスクを作成します。53 ページの「新規オーディオ CD の作成を開始する」または 63 ページの「新規 MP3 ディスクの作成を開始する」をご覧ください。
- **ビデオタブ**：コンピュータや家庭用 DVD プレーヤで再生する、ビデオ CD、スーパービデオ CD、または DVD を作成します。80 ページの「ビデオディスクの作成を開始する」をご覧ください。
- **コピータブ**：ディスクやイメージファイルをコピーします。108 ページの「ディスクコピーの概要」をご覧ください。

コンテンツ領域

コンテンツ領域へファイルを追加し、必要に応じて整理します。また、この領域でコピーしたいディスクを表示します。作成するディスクの種類によって、コンテンツ領域が多少異なります。コンテンツを追加するには、ここにファイルをドラッグします。画面によっては、[追加...] ボタンをクリックして、[オブジェクトの選択] ダイアログもしくは [開く] ダイアログからファイルを追加します。詳しくは 12 ページの「*Toast* によるディスク作成の概要」をご覧ください。



コンテンツ領域
 (ここでは
 オーディオ
 コンテンツ領域)

書き込みボタン

赤い書き込みボタンをクリックすると、ディスクへの書き込みが開始します。書き込みボタンは以下により構成されています。



- **空き容量インジケータ** : 書き込みたいディスクのタイプごとに、ディスクがどのくらい使用されるかを表示します。

- **CD/DVD ボタン** : 空き容量インジケータが示すメディアの種類 (CD または DVD) を切り替えます。
- **レコーダオプションボタン** : 緑のレコーダオプションボタンには選択できるレコーダが表示されます。さらに、レコーダ設定シートにもリンクします (選択したレコーダの環境設定が変更できます)。
- **レコーダ名** : 現在選択されているレコーダの名前を表示します。お使いのコンピュータに複数のレコーダを接続している場合、レコーダ名をクリックすると別のレコーダが表示できます。

ディスクオプション設定画面

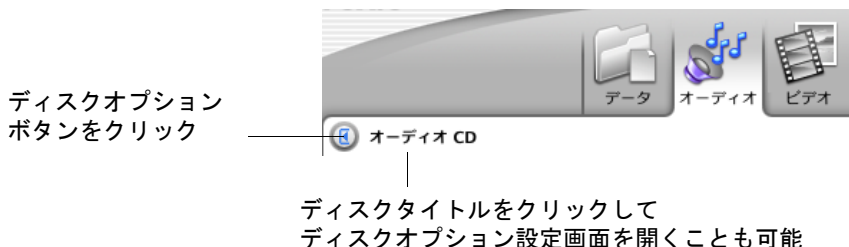
4 つのタブ (データ、オーディオ、ビデオ、コピー) それぞれに設定画面があり、選択したディスクタイプごとに変更を加えることができます。



ディスクオプション設定画面 (オーディオディスクを表示) ディスクオプションボタン

ディスクオプションボタン

どの表示でディスクオプションボタンをクリックしても、ディスクオプション設定画面が表示されます。(現在のディスクタイトルをクリックすることもできます。)



レコーダをセットアップしてオンにする

レコーダを Toast 用にセットアップするには：

- レコーダがコンピュータに接続され、オン状態であることを確認します。詳しくは製品に付属している説明書をご覧ください。

しばらくすると Toast が自動的にレコーダを検出し、ウィンドウの下部にレコーダ名を表示します。

レコーダ名が表示されない場合、[レコーダが見つかりません]をクリックします。しばらくするとレコーダ名が表示されます。(レコーダ名が表示されない場合は、ケーブルや電源コードをチェックしてください。)

これでディスク作成の準備ができました。

使用するメディアの種類を選択する

ブランク CD やブランク DVD メディアには様々な種類があります。どのディスクタイプを使用するかは、次の2つの互換性要因がカギとなります：

- メディアの種類と再生デバイスとの互換性
- メディアの種類とレコーダとの互換性

メディアと再生デバイスとの互換性

使用する CD/DVD メディアとお使いの再生デバイスに互換性があるか、製品に付属している説明書を確認してください。

メディアとレコーダとの互換性

使用する CD/DVD メディアとお使いのレコーダに互換性があるか、製品に付属している説明書を確認してください。

互換性があるのに問題が生じる場合

メディアのブランドによっては、お使いのレコーダや再生デバイスで正常に機能しない場合があります。あるブランドのメディアで同じ問題が繰り返し起こる場合は、他のブランドのメディアを試してください。

Toast の基本

本章の内容

Toast によるディスク作成の概要	12
レコーダを選択する	12
レコーダ設定を変更する	13
Toast プロジェクトを保存する、および開く	16
コンテンツ領域の項目を消去する	16

Toast によるディスク作成の概要

このセクションでは、Toast を使って CD/DVD を作成するプロセスの基本を説明します。

- 1 **ディスクタイプを選択する**：Toast で、作成したいディスクタイプのタブを選択します。
 - **データタブ**：ファイルの保管やバックアップ用に、すべての種類のファイルやフォルダをディスクに保存します。ディスクは、Macintosh や PC、またはすべてのコンピュータで使用できるよう作成できます。37 ページの「データディスクの作成を開始する」をご覧ください。
 - **オーディオタブ**：コンピュータ、MP3 プレーヤ、または家庭用ステレオやカーステレオで再生するオーディオ CD や MP3 ディスクを作成します。53 ページの「新規オーディオ CD の作成を開始する」または 63 ページの「新規 MP3 ディスクの作成を開始する」をご覧ください。
 - **ビデオタブ**：コンピュータや家庭用 DVD プレーヤで再生する、ビデオ CD、スーパービデオ CD、または DVD を作成します。80 ページの「ビデオディスクの作成を開始する」をご覧ください。
 - **コピータブ**：ディスクやイメージファイルをコピーします。108 ページの「ディスクコピーの概要」をご覧ください。
- 2 **ディスクオプション設定を変更する**：ディスクオプションボタンをクリックしてディスクオプション設定画面を表示します。この画面では、それぞれのディスクタイプごとにオプション設定を変更することができます。
- 3 **コンテンツ領域にファイルを追加する**：データ、オーディオ、またはビデオを選択したら、ディスクに書き込むファイルを追加します。[コピー] タブを選択した場合は、イメージファイルまたはディスクを追加することができます。
- 4 **ディスクに書き込む**：赤い書き込みボタンをクリックしてディスクを作成します。

レコーダを選択する

Toast で、ディスクにファイルを書き込むのに使用するレコーダを選択することができます。

レコーダを選択するには：

- 1 Toast ウィンドウの一番下にある、緑のレコーダオプションボタンをクリックします。
ポップアップメニューが現れ、書き込みに使用できるレコーダが表示されます。
- 2 レコーダを選択します。

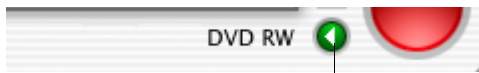
レコーダ設定を変更する

ディスクに書き込む前に、書き込み時に使用する設定を表示して変更することができます。設定には以下の項目が含まれます：

- どのレコーダが選択されているか（複数のレコーダを接続している場合）
- 書き込むディスクの枚数
- 書き込み完了後の操作
- レコーダ特有の設定と情報

レコーダ設定を変更するには：

- 1 [レコーダ]メニューから [レコーダ設定 ...] を選択します。（あるいは緑のレコーダオプションボタンをクリックして [レコーダ設定 ...] を選択）。



レコーダオプションボタン

- 2 [基本設定] タブをクリックします。 [基本設定] タブでは以下の設定を変更することができます。
 - **レコーダ**：書き込み先のレコーダ名を表示します。レコーダを変更するには、ポップアップメニューから別のレコーダを選択します。
 - **書き込み速度**：ディスクに書き込む速度を表示します。書き込み速度を変更するには、ポップアップメニューから速度を選択します。初期設定では、使用するメディアとレコーダで可能な最も速い速度で書き込みます。

使用するブランクディスクが低速のドライブ速度に最適化されている場合、または、お使いのレコーダの書き込み速度がハードディスクの処理速度より速い場合、書き込み速度を変更する必要があるかもしれません。

- **コピー枚数**：レコーダで作成するディスクの枚数を入力します。コピーが終了したら、次のブランクディスクを挿入するよう画面に表示されます。
- 3 [高度な設定] タブをクリックします。[高度な設定] タブで以下の設定を変更することができます。
- **ディスク作成後の操作**：ポップアップメニューから、書き込み後のディスクの処理を選択します。ディスクをデスクトップにマウント、ディスクを取り出す、またはいずれかを問うかを指定することができます。
 - **ディスクをクローズ**：このチェックボックスをオンにすると、それ以上のセッションが書き込めないようディスクが処理されます（セッションとは一回の書き込みをいいます）。これは1つのセッションのみを書き込むディスクを作成する場合に便利です。
ディスクに複数のセッションを書き込みたい場合はこのチェックボックスをオフにします。
 - **データを検証**：このチェックボックスをオンにすると、データディスクの書き込みが完了したら、ディスクのコンテンツとハードディスクの同じデータを自動的に検証します。
書き込み完了後にデータディスクのコンテンツを自動的に検証しない場合、このチェックボックスをオフにします。
 - **シミュレーションモード**：ディスクにデータやオーディオを書き込むプロセスをシミュレートしたい場合、このチェックボックスをオンにします。これにより、実際にメディアに書き込む前に、書き込み速度や他のレコーダ設定が適切かどうかを確認することができます。
直接ディスクに書き込みたい場合はこのチェックボックスをオフにします。
 - **バッファアンダーラン防止**：バッファアンダーラン防止機能を使用する場合、このチェックボックスをオンにします
バッファアンダーランは、書き込み時、ハードディスクがレコーダにデータを転送する速度が遅い場合に起きるエラーです。この場合、使用できないブランクディスクが作成されてしまいます。

- **オーディオ書き込みモード**：レコーダの書き込みモードを表示します。書き込みに最も適したオプションを選択してください。
 - **DAO**：“Disc-At-Once”の略で、この書き込み方法では、オーディオトラック間に最大8秒のポーズを挿入することが可能です。商業目的で複製されるオーディオCDを作成する場合にこのオプションを選択します。レコーダにはDAOモードを使用できないものもあります。
 - **TAO**：“Track-At-Once”の略で、この書き込み方法ではトラック間に2秒のポーズが必要です（レコーダの種類による）。このモードでは、CD-TEXTを書き込むことができません。詳しくは54ページの「CD-TEXT機能を使用する」をご覧ください。
- **書き込む前にレコーダ設定を表示**：赤い書き込みボタンをクリックするたびにレコーダ設定シートを表示したい場合、このチェックボックスをオンにします。

赤い書き込みボタンをクリックしてすぐに書き込みを開始するには、このチェックボックスをオフにします。

- 4 現在選択されているレコーダについての情報を見るには、レコーダ名と一致するタブをクリックします。
- 5 完了したら [OK] をクリックします。

Toast プロジェクトを保存する、および開く

Toast プロジェクトを保存したり、既存のプロジェクトを開くことができます。



メモ： 後で作業を続けることができるよう、コンテンツ領域の項目の参照情報が保存されます。元のファイルやフォルダをハードディスクから移動したり削除した場合、Toast はそれらを見つけることができません。

既存のプロジェクトを開くには：

- 1 [ファイル]メニューから [開く ...] を選択します。
- 2 開きたい Toast ファイルを選択します。
- 3 [開く] をクリックします。

現在のプロジェクトを保存するには：

- [ファイル]メニューから [保存] を選択します。

プロジェクトを別名で保存するには：

- 1 [ファイル]メニューから [別名で保存 ...] を選択します。
- 2 ファイル名を入力し、プロジェクトを保存する場所を選択します。
- 3 [保存] をクリックします。

コンテンツ領域の項目を消去する

コンテンツ領域からすべての項目または選択した項目を消去することができます。

コンテンツ領域の項目を消去するには：

- 1 コンテンツ領域で、消去したい項目を選択します。
すべてを消去するには、[編集]メニューから [すべてを選択] を選択します (またはコマンド +A を押す)。
- 2 キーボードの delete キーを押します (また [編集]メニューから [消去] を選択)。
選択した項目がコンテンツ領域から消えます。

一般的な機能について

3

本章の内容

レコーダをネットワーク上で共有する (ToastAnywhere)	18
デスクトップからファイルやフォルダを Toast へ送信する (Toast It)	20
書換可能ディスクを消去する	21
ディスクを取り出す	21
Toast 環境設定を設定する	22
ディスクの詳細情報を見る	22

レコーダをネットワーク上で共有する (ToastAnywhere)



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

ToastAnywhere™ を使用することにより、他の Toast 6 Titanium ユーザと、ネットワークやインターネットを介して CD/DVD レコーダを共有することができます。一台のレコーダを、オフィス全体あるいはホームネットワーク上で使用することが可能です。



メモ： コンピュータネットワーク上で誰かがレコーダを共有するよう設定した場合、そのレコーダに、ネットワークを介してどのような種類のデータでも書き込むことができます。ただしこの場合、直接コンピュータに接続されたレコーダに書き込むより、時間がかかります。

他の Toast 6 Titanium ユーザとネットワーク上でレコーダを共有するには：

- 1 [Toast Titanium] メニューから [環境設定 ...] を選択します。
[Toast 環境設定] ダイアログが表示されます。
- 2 [Toast 環境設定] ダイアログで [共有] タブをクリックします。
- 3 [共有] タブで [開始] をクリックします。
- 4 以下のいずれかの操作を行ってください。
 - この状態ではネットワークやインターネット上の他の Toast 6 Titanium ユーザに対してレコーダへのアクセスを制限していません。
 - お使いのコンピュータに接続したレコーダへのアクセスに対してパスワード制限を行う場合、[パスワードを要求する] チェックボックスをオンにします。パスワード設定のシートが表示され、パスワードを入力するよう求められます。完了したら [OK] をクリックします。

レコーダを共有しない、または、パスワードを変更するには：

- 1 [Toast Titanium] メニューから [環境設定 ...] を選択します。
[Toast 環境設定] ダイアログが表示されます。
- 2 [Toast 環境設定] ダイアログで [共有] タブをクリックします。
- 3 [共有] タブで以下のいずれかの操作を行ってください。
 - レコーダを共有しない場合、[停止] をクリックします。
 - パスワードを変更するには、[パスワードを設定] をクリックします。新しいパスワードを入力して確認するよう、求められます。
- 4 完了したら [OK] をクリックします。

共有レコーダに書き込む

Toast から共有レコーダに書き込むには：

- 1 お使いのディスクを通常通りにセットアップします。
- 2 Toast ウィンドウの一番下にある、緑のレコーダオプションボタンをクリックします。
ポップアップリストが開き、お使いのシステムに接続しているレコーダと、同じローカルネットワーク上に存在する共有レコーダの名前が表示されます。
- 3 共有レコーダを選択します。
インターネット上のいずれかのロケーションの共有レコーダにアクセスするには、[他の共有レコーダ ...] を選択します。ダイアログが現れたら IP アドレスを入力します。
- 4 レコーダを共有している人がパスワードを設定している場合、表示されたダイアログボックスでパスワードを入力する必要があります。
このレコーダが、現在使用しているレコーダとして表示されます。
- 5 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 6 共有レコーダをコンピュータに接続している人は、ブランクディスクを挿入するよう求められます。
ネットワークを介して指定したコンテンツがディスクに書き込まれます。

デスクトップからファイルやフォルダを Toast へ送信する (Toast It)

Toast It™ を使用して、デスクトップのあらゆる場所からファイルやフォルダを自動的に Toast へ送信することができます。



メモ： この機能は、Toast を起動していない状態でも行うことができます。起動していない場合、Toast が自動的に起動します。

Toast It を使用可能、あるいは使用不可にするには：

- 1 [Toast Lite] メニューから [環境設定 ...] を選択します。
 [Toast 環境設定] ダイアログが表示されます。
- 2 [一般] タブで [Toast It コンテキストメニュープラグインを使用] チェックボックスをオンにして、Toast It を使用可能にします。使用不可にするにはこのチェックボックスをオフにします。
- 3 閉じるボタンをクリックして環境設定を終了します。

Toast It 機能を使用するには：

- 1 デスクトップ上またはハードディスク内のフォルダから、Toast へ送信するファイルやフォルダを選択します。
- 2 選択したファイルまたはフォルダを Ctrl + クリックします。
 コンテキストメニューが表示されます。
- 3 コンテキストメニューから [ToastIT] を選択します。
 選択したファイルやフォルダが Toast へ送信されます。

書換可能ディスクを消去する

CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、または DVD-RAM メディアを使用している場合、ディスク内のすべてのコンテンツを消去して、同じディスクに再書き込みすることが可能です。



注意： 書換可能ディスクに機密データ（個人情報等）をコピーした場合、ディスクの内容を消去してその上から別のデータを書き込むのではなく、ディスク自体を破壊することをお勧めします。

書換可能ディスクを消去するには：

- 1 ディスクをレコーダに挿入します。
- 2 [レコーダ]メニューから[消去...]を選択します。

そのディスクを消去して良いか確認するダイアログが表示されます。

- ディスクをすばやく消去して、Toast（または Jam）でのみ使用できる状態にするには、[簡易消去]をクリックします。
- ディスクをどこでも使用できるような状態に消去するには、[消去]をクリックします。

ディスクの消去状況を示すバーが表示されます。

ディスクを取り出す

次の方法でディスクをレコーダまたはドライブから取り出します：

- [レコーダ]メニューから[取り出し]を選択します。
- レコーダ設定シートで[取り出し]をクリックします。
- ディスクアイコンを Dock のゴミ箱へドラッグします。

Toast 環境設定を設定する

Toast 環境設定を設定するには：

- 1 [Toast Titanium] メニューから [環境設定 ...] を選択します。
 [Toast 環境設定] ダイアログが表示されます。
- 2 [一般] タブでは以下のオプションを選択することができます。
 - **Dock に Toast アイコンを追加する**：このチェックボックスをオンにすると、Toast を起動していないときでも Dock にアイコンが表示されます。
 - **Toast It コンテキストメニュープラグインをインストールする**：デスクトップから直接 Toast に項目を送信できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。詳しくは 20 ページの「デスクトップからファイルやフォルダを Toast へ送信する (Toast It)」をご覧ください。
- 3 [共有] タブをクリックします。
 [共有] タブでは、ネットワークやインターネットを介して他の Toast 6 Titanium ユーザと CD/DVD レコーダを共有できるよう設定します。詳しくは 18 ページの「レコーダをネットワーク上で共有する (ToastAnywhere)」をご覧ください。
- 4 完了したら閉じるボタンをクリックして [Toast 環境設定] ダイアログを閉じます。

ディスクの詳細情報を見る

お使いのコンピュータに接続していて現在選択されているレコーダに挿入されている、ブランクディスクまたは書き込み済ディスクについて、その詳細情報を見ることができます。



メモ：この機能は CD/DVD レコーダでのみ使用することができます。

ディスクの詳細情報を見るには：

- 1 ブランクディスクまたは使用済みディスクをレコーダに挿入します。
- 2 [レコーダ] メニューから [ディスク情報 ...] を選択します。

[ディスク情報] ダイアログが表示されます。以下はダイアログに表示されるディスク情報の概要です。

- ディスクラベルの名前 (ある場合)
- ディスクタイプ (データ CD-R、オーディオ CD 等)
- トラック名
- トラック開始情報
- トラックサイズ (またはトラックの長さ)
- セッション情報

書換可能ディスクを消去する

お使いのレコーダで書換可能ディスクが扱え、現在選択されているレコーダに書換可能ディスクが挿入されている場合、[ディスク情報] ダイアログの [消去 ...] ボタンが使用できます。

詳しくは 21 ページの「書換可能ディスクを消去する」をご覧ください。

高度な機能について

4

本章の内容

マルチセッションディスクを作成する	26
プロジェクトをイメージファイルとして保存する	27
イメージファイルをデスクトップにマウントする	28
テンポラリ・パーティションを作成する	28
2つのファイルまたはフォルダのコンテンツを比較する	30

マルチセッションディスクを作成する

セッションとは、1つ以上の音楽またはデータトラックを含んだ、ディスク上の書き込み領域です。ディスクには1つ以上のセッションを記録することができ、複数のセッションを含んだディスクはマルチセッションディスクと呼ばれます。



メモ： オーディオ CD をマルチセッションにするのはお勧めできません。ほとんどの家庭用ステレオあるいはカーステレオの CD プレーヤでは、最初のセッションで書き込んだトラックしか再生できません。

一番目のセッションを作成するには：

- 1 ディスクに最初のセッションを書き込むには、通常通りファイルをコンテンツ領域に追加します。
- 2 書き込み準備ができたなら、[レコーダ]メニューから[レコーダ設定...]を選択します(あるいは緑のレコーダオプションボタンをクリックして[レコーダ設定...]を選択)。
レコーダ設定シートが表示されます。
- 3 レコーダ設定シートで[高度な設定]タブをクリックし、[ディスクをクローズ]チェックボックスがオフになっていることを確認します。
- 4 [OK]をクリックします。
- 5 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 6 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。使用に適したメディアについての情報は、9ページの「使用するメディアの種類を選択する」をご覧ください。
データがディスクに書き込まれる間、進行状況がバーで表示されます。書き込みが完了するとメッセージが表示されます。

ディスクをマルチセッションディスクにするには：

- 1 既に最初のセッションが存在するディスクに別のセッションを書き込むには、通常通りファイルをコンテンツ領域に追加します。
- 2 書き込み準備が完了したら、書き込みボタンをクリックします。

- 3 画面の指示に従って、既にセッションが存在するディスクを挿入します。

データがディスクに書き込まれる間、進行状況がバーで表示されます。書き込みが完了するとメッセージが表示されます。

プロジェクトをイメージファイルとして保存する

データ、オーディオ、ビデオ、あるいはコピーを CD や DVD メディアに書き込む代わりに、それらをイメージファイルとして保存することができます。イメージファイルは 1 つのファイルとしてハードディスクに保存され、CD や DVD を作成するのに必要なすべてのデータやフォーマット情報が含まれます。

イメージファイルを作成するケース

- ディスクの書き込みを後で行いたい場合
- ネットワークドライブからそのまま書き込むには速度が不十分な場合
- 別の人にディスクを書き込んでほしい場合
- マスターディスクのマスターコピーを作成したい場合

イメージファイルの特徴

- イメージファイルには必要なデータすべてが含まれます。(対して保存した Toast プロジェクトではデータの参照情報のみが含まれます)。
- ほとんどのイメージファイルは、マウントしてコンテンツや機能をチェックできます。
- マウントされたイメージファイルは、デスクトップ上にディスクのように表示されます。

プロジェクトをイメージファイルとして保存するには：

- 1 お使いのディスクを通常通りにセットアップします。
- 2 [ファイル]メニューから[ディスクイメージで保存...]を選択します。
[ディスクイメージの保存名]ダイアログが表示されます。
- 3 [ディスクイメージの保存名]ダイアログで、イメージファイルを保存する場所を指定します。

イメージファイルをデスクトップにマウントする

作成したイメージファイルをデスクトップにマウントすることができます。イメージファイルのほとんどをマウントすることができます。

マウントされたイメージは他のディスクと同じように機能し、書き込みが禁止されています。



メモ： Toast をインストールして初めてイメージファイルをデスクトップにマウントする場合、管理者パスワードの入力が求められます。一度パスワードを入力すると、次回からはパスワードの入力が必要ありません。管理者権限がない場合、Toast でイメージファイルをマウントできません。

ディスクイメージフォーマットウィンドウの [マウント] ボタンをクリックして、イメージをマウントすることもできます。

イメージファイルをデスクトップにマウントするには：

- [ユーティリティ] メニューから [ディスクイメージのマウント ...] を選択します。
- [コピー] タブで、ディスクオプションとして [イメージ] ファイルを選択すると、[マウント] をクリックしてイメージをマウントすることができます。

テンポラリ・パーティションを作成する

ディスクに書き込むデータをセットアップするのに、ハードディスクに一時的にパーティションを作成できます。

テンポラリ・パーティションは、データのレイアウトやウィンドウの並びと表示方法をしっかりと管理したい場合に便利です。

テンポラリ・パーティションを作成するには：

- 1 [ユーティリティ]メニューから [テンポラリ・パーティションの作成] を選択します。

[テンポラリ・パーティションの作成] ダイアログが表示されます。



- 2 パーティション名とサイズを入力します。そのパーティションで作成するディスクのサイズにあったサイズを選択します。
- 3 [場所] ポップアップメニューから、テンポラリ・パーティションを作成するハードディスクまたはネットワークフォルダを選択します。
- 4 [フォーマット] ポップアップメニューから、テンポラリ・パーティションのフォーマットタイプを選択します。
 - **Mac OS 拡張**：Mac OS 8.1、およびそれ以降でのみ使用できるディスクの書き込みをこのパーティションを使って行う場合、このオプションを選択します。
 - **Mac OS 標準**：すべての Macintosh コンピュータで使用できるディスクの書き込みをこのパーティションを使って行う場合、このオプションを選択します。
 - **UNIX ファイルシステム**：UNIX オペレーティングシステムで使用できるディスクの書き込みをこのパーティションを使って行う場合、このオプションを選択します。
- 5 [OK] をクリックします。

パーティションがデスクトップにマウントされます。

2つのファイルまたはフォルダのコンテンツを比較する

2つのフォルダまたは2つのファイルのコンテンツが一致しているか、比較することができます。比較することによって、作成したコピーが元のファイルと同じであるか二重にチェックすることができます。



メモ： 比較は、ディスクの書き込み後に行う検証とは異なります。検証の場合、常に選択されたソースデータと作成されたディスクを比較しますが、比較コマンドの場合はどのデータ同士でも比較できます。さらに、比較コマンドではデータを比較するときに各ファイルを個々にチェックしますが、検証はブロックのみを比較します。通常比較コマンドは、どのファイルにエラーがあるかを通知します。

フォルダまたはファイルを比較するには：

- 1 [ユーティリティ]メニューから[比較...]を選択します。

[比較] ダイアログが表示されます。



- 2 ダイアログの一番上の [比較] ポップアップメニューから、比較の対象がファイルかフォルダかを選択します。
- 3 [DS_Store を無視] チェックボックスは、通常はオンにしたままにしてください。
- 4 [オリジナル ...] をクリックします。
[ファイルの選択] ダイアログが表示されたら、別のファイルかフォルダと比較するファイルまたはフォルダを、ハードディスク内でブラウズします。
- 5 別のファイルかフォルダと比較するファイルまたはフォルダを指定して [選択] をクリックします。
- 6 [コピー ...] ボタンをクリックします。
[ファイルを選択] ダイアログまたは、[フォルダを選択] ダイアログが表示されます。
- 7 最初に選択したものと比較するファイルまたはフォルダを指定して [選択] をクリックします。

8 [開始] をクリックします。

[比較] ダイアログに、比較状況を示すバーが表示されます。

[比較] ダイアログに、比較しているファイルまたはフォルダの不一致情報が表示されます。

データ

5	データディスクを作成する	35
6	データ機能を使用する	43

データディスクを作成する

5

本章の内容

データディスクとは？	36
データディスク作成の概要	36
データディスクの作成を開始する	37
データディスクの設定を変更する	37
データディスクにファイルまたはフォルダを追加する	38
データディスク内のファイルやフォルダを編集する	39
データディスクを書き込む	41

データディスクとは？

データディスクとは、ファイルやフォルダを含む CD または DVD をいいます。どのファイルやフォルダでも、そのサイズがディスク容量を越えない限り、CD または DVD メディアにバックアップすることができます。

データディスクを作成するケース

次のような場合にデータディスクを作成します。

- 貴重なファイルをバックアップする
- 写真を保管する
- Macintosh または Windows コンピュータで使用できるディスクを作成する

データディスク作成の概要

次の手順に従って、データディスクを作成します：

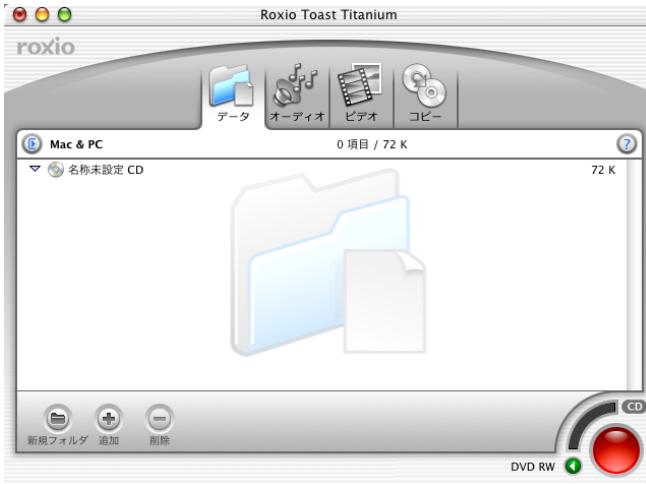
- 1 データディスクの作成を開始する：**データディスクタイプを選択します。
- 2 データディスクの設定を変更する (オプション)：**データディスクの設定は変更することができます。また、Toast が保存している前回使用した設定をそのまま使用できます。作成したディスクをどのオペレーティングシステムで読めるようにするか設定することは重要です。
- 3 コンテンツをディスクに追加する：**データディスクには、ファイルとフォルダを自由に組み合わせて追加することができます。
- 4 データディスクを書き込む：**書き込みの準備が完了したら、データを CD または DVD メディアに書き込むことができます。

データディスクの作成を開始する

データディスクの作成を開始するには：

- [データ] タブをクリックします。

データコンテンツ領域が表示されます。



データディスクの設定を変更する

必要に応じてデータディスクの設定を変更することができます。ここで、Mac Only ディスク (Macintosh コンピュータでのみ使用可能) または Mac & PC ディスク (Macintosh と Windows の両方のコンピュータで使用可能) にディスクを選択することが重要です。

Mac Only または Mac & PC ディスクを選択する

ディスクは、Macintosh コンピュータでのみ使用できるもの、または Macintosh と Windows の両方のコンピュータで使用できるものを作成することができます。

Mac Only データディスクとは？

Mac Only ディスクは Macintosh のデータを含み、Macintosh コンピュータでのみ使用することができます。

Mac & PC ディスクとは？

Mac & PC ディスクは Macintosh と Windows のデータを含むクロスプラットフォームのデータディスクで、どちらのオペレーティングシステムでも使用することができます。Macintosh のデータは、Windows のユーザにも見ることができます。



メモ： 高度な種類のクロスプラットフォームディスクの作成については、47 ページの「高度なデータディスクを作成する」をご覧ください。

Mac Only または Mac & PC ディスクを選択するには：

- 1 ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で、ディスクを Macintosh コンピュータでのみ使用可能にするか、Windows コンピュータでも使用可能にするかを選択します。
 - Macintosh のみの場合、[Mac Only] を選択します。
 - Macintosh と Windows で使用できるようにする場合、[Mac & PC] を選択します。

高度なデータディスク設定を変更する

データディスクオプション設定画面で利用できる高度なデータ処理の一覧は、47 ページの「高度なデータディスクを作成する」をご覧ください。

データディスクにファイルまたはフォルダを追加する

次の方法でデータディスクにファイルやフォルダを追加します：

- [データ] タブを選択した状態で、ハードディスクにあるファイルやフォルダを選択し、データコンテンツ領域にドラッグします。
- [データ] タブを選択した状態で、[追加] をクリックします。[オブジェクトの選択] ダイアログが現れたら、追加するファイルやフォルダを選択して [選択] をクリックします。

- **Toast It が使用可能な場合** : Toast へ送信するファイルやフォルダをハードディスクから選択します。選択した項目を Ctrl + クリックし、コンテキストメニューから [Toast It] を選択します。詳しくは 20 ページの「デスクトップからファイルやフォルダを Toast へ送信する (Toast It)」をご覧ください。

追加したファイルやフォルダは、データコンテンツ領域でそれぞれ別の行として表示されます。



メモ : Toast にファイルやフォルダを追加しても、ハードディスクの元のファイルが移動したり変更されることはありません。単に、ハードディスク上の項目の参照情報が作成されます。

データディスク内のファイルやフォルダを編集する

データコンテンツ領域に追加したファイルやフォルダを次のように整理することができます :

- 新規フォルダを作成する
- ファイルまたはフォルダを整理する
- ファイル名またはフォルダ名を変更する
- ファイルまたはフォルダを削除する

データディスクに新規フォルダを作成する

データコンテンツ領域で、ハードディスク上と同じようにフォルダを作成したり整理することができます。(ハードディスク上にはフォルダが追加されません。)

フォルダを作成するには :

- 1 データコンテンツ領域で、新規フォルダを作成するディスクまたはフォルダを選択します。
- 2 [新規フォルダ] をクリックして新規フォルダを作成します。
 新規フォルダが、データコンテンツ領域の現在選択されている項目の下に表示されます。

データディスクのファイルやフォルダを整理する

ハードディスクのファイルやフォルダと同様に、データコンテンツ領域でファイルやフォルダを整理することができます。(ハードディスク内の元のファイルの位置は変更されません。)

ファイルやフォルダを整理するには：

- 特定のフォルダにファイルやフォルダを追加するには、ファイルやフォルダを選択して追加先のフォルダにドラッグ&ドロップします。

データディスク内のファイル、フォルダ、またはディスクの名前を変更する

データディスク内のファイル、フォルダ、またはディスクの名前を変更するには：

- 1 項目をクリックします。
しばらくすると項目が選択された状態になります。
- 2 項目の新しい名前を入力します。
- 3 次の項目の名前も変更したい場合、tab キーを押します。
enter キーを押して名前を変更します。

ファイルまたはフォルダを削除する

データコンテンツ領域からファイルやフォルダを削除することができます。(ハードディスクにある元のファイルやフォルダは削除されません。)

データコンテンツ領域からファイルやフォルダを削除するには：

- 1 削除したいファイルやフォルダを選択します。
- 2 次の方法でファイルやフォルダを削除します：
 - [削除] をクリックします。
 - delete キーを押します。
 - [編集] メニューから [消去] を選択します。

データコンテンツ領域からファイルやフォルダが削除されます。

データディスクを書き込む

データコンテンツ領域でファイルやフォルダの整理が完了したら、書き込み可能な CD または DVD に書き込むことができます。



メモ： CD に書き込む前に、別のレコーダを選択したり、レコーダ設定を変更することができます。詳しくは 12 ページの「レコーダを選択する」または 13 ページの「レコーダ設定を変更する」をご覧ください。

ディスクを書き込むには：

- 1 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 2 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。

データがディスクに書き込まれる間、進行状況がバーで表示されます。

検証オプションを選択した場合、書き込みが成功したかどうかを確認するために、ディスクのコンテンツをオリジナルデータと引き合わせてチェックします。

データ機能を使用する

6

本章の内容

どのバージョンの Mac OS でディスクを読み込めるようにするか設定する	44
Mac Only データディスクを圧縮する	44
Mac Only データディスクを暗号化する	45
データディスクをコピーする	46
自動的に定期バックアップを行う	47
高度なデータディスクを作成する	47

どのバージョンの Mac OS でディスクを読み込めるようにするか設定する

データディスクを作成するとき、そのディスクをすべての Macintosh コンピュータで使用可能にするか、Mac OS 8.1 以降を搭載している Macintosh コンピュータでのみ使用可能にするかを設定できます。

ディスクをどの Macintosh オペレーティングシステムで使用可能にするかを設定するには：

- 1 ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
 ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で [高度な設定] をクリックし、このディスクをどの Macintosh オペレーティングシステムで読めるようにするかを設定します。
 - 作成するディスクを、Mac OS 8.1 以降がインストールされた Macintosh でのみ使用可能にするには、[HFS 標準] チェックボックスがオフの状態のままにします。
 - 作成するディスクをすべての Macintosh で使用可能にするには、[HFS 標準] チェックボックスをオンにします。

Mac Only データディスクを圧縮する



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

Mac Only データディスクを書き込む場合、書き込み中にディスクのコンテンツを圧縮できます。ディスクに書き込むファイルの種類によって、データを最大 50% 多くディスクに収めることができます。

Mac Only データディスクを圧縮するには：

- 1 [データ] タブで、ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
 ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で [圧縮] チェックボックスをオンにします。
 プロジェクトをディスクに書き込むときに圧縮されます。

圧縮後、圧縮されたディスクを使用するには：

- 1 ディスクをドライブに挿入します。
- 2 デスクトップにディスクのアイコンが表示されたらダブルクリックします。
 ディスクのコンテンツを含んだ圧縮ファイルがウインドウ内に表示されます。
- 3 圧縮ファイルをダブルクリックします。
 ファイルが解凍され、コンテンツを見ることができます。

Mac Only データディスクを暗号化する



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、
http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

Mac Only データディスクを書き込む場合、データを 128 ビットで暗号化してパスワード保護できます。

ディスクのコンテンツを見るには、コンピュータに Toast がインストールされている必要はありませんが、そのディスクをコンピュータに挿入したときパスワードが求められます。

Mac Only データディスクを暗号化するには：

- 1 データディスクをセットアップします。
- 2 [データ] タブでディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
 ディスクオプション設定画面が表示されます。

- 3 ディスクオプション設定画面で [暗号化] チェックボックスをオンにします。
- 4 赤い書き込みボタンをクリックします。
新規パスワードシートが表示され、パスワードを入力するよう求められます。
- 5 パスワードを入力し、確認して [OK] をクリックします。



警告：パスワードは安全な場所に保管してください。**パスワードを忘れた場合、ディスクのデータにアクセスすることはできません。**

- 6 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。
暗号化されたデータがディスクに焼かれる間、進行状況がバーで表示されます。
検証オプションを選択した場合、書き込みが成功したかどうかを確認するために、ディスクのコンテンツをオリジナルデータと引き合わせてチェックします。

暗号化後、暗号化されたディスクを使用するには：

- 1 暗号化されたディスクをドライブに挿入します。
- 2 デスクトップにディスクのアイコンが表示されたらダブルクリックします。
ディスクのコンテンツを含んだ暗号化ファイルがウインドウ内に表示されます。
- 3 暗号化ファイルをダブルクリックします。
パスワード入力求められます。
- 4 正しいパスワードを入力します。
ファイルが復号化され、コンテンツを見ることができます。

データディスクをコピーする

データディスクを、他の種類のディスクと同じようにコピーできます。詳しくは 108 ページの「ディスクコピーの概要」をご覧ください。

自動的に定期バックアップを行う



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

Déjà Vu はサードパーティによって開発されたソフトウェアです。Toast でこのソフトウェアを使用して、重要なフォルダの定期バックアップや手動バックアップを行うことができます。

Déjà Vu をインストールするには：

Déjà Vu は、Toast をインストールして初めて起動するときに自動的にインストールされます。

Déjà Vu を起動するには：

- 1 Mac OS のシステム環境設定を開きます。
- 2 [システム環境設定] のその他の部分で、[Déjà Vu] アイコンをクリックします。
- 3 詳しい情報を見るには、Déjà Vu ウィンドウのヘルプボタンをクリックしてください。

高度なデータディスクを作成する



メモ： これらのほとんどの機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

[データ] タブのディスクオプション設定画面では、追加機能として次の種類のディスクを作成することもできます：

- **UDF: VIDEO_TS** フォルダから DVD ビデオを作成、または UDF リーダソフトウェアを使ってコンピュータで使用可能なデータ CD または DVD を作成します。

- **ISO 9660 ディスク** : Windows、Macintosh、UNIX、Linux、DOS など複数のオペレーティングシステムで使用可能なデータディスクを作成します。
- **カスタムハイブリッド** : Macintosh や Windows コンピュータで使用できるデータディスクを作成します。Windows のユーザは Macintosh のデータを見るできません。同様に Macintosh のユーザは Windows のデータを見るできません。Windows システムと完全な互換性を維持しながら、Macintosh ユーザはアイコンやウインドウの位置を通常通り見ることができます。
- **Mac ボリューム** : ローカルの HFS 標準または HFS+ ボリューム、またはパーティションのコンテンツ全体をディスクに書き込みます。

これらの機能についての詳しい情報を見るには、Toast ヘルプを起動し、トピックリンクのリストをクリックして、必要なトピックをご覧ください。

オーディオ

7	オーディオ CD を作成する	51
8	MP3 ディスクを作成する	61
9	オーディオ機能を使用する	69

オーディオ CD を作成する



本章の内容

オーディオ CD とは？	52
オーディオ CD 用のメディアを選択する	52
オーディオ CD 作成の概要	53
新規オーディオ CD の作成を開始する	53
オーディオ CD フォーマットを選択する	54
オーディオ CD にオーディオファイルを追加する	54
オーディオ CD のファイルを編集する	56
オーディオ CD を書き込む	60

オーディオ CD とは？

オーディオ CD はオーディオトラックを含み、CD プレーヤ、一部の MP3 ディスクプレーヤ、コンピュータ、さらに一部の DVD プレーヤで再生することができます。Toast は、書き込み中に自動的にオーディオファイルを CD トラックにコンバートするため、オーディオ CD にはほとんどすべての種類のオーディオファイルを追加することができます。

MP3 ディスクではなくオーディオ CD を選択する理由

以下のいずれかの場合、オーディオ CD フォーマットを選択します：

- オーディオ CD プレーヤを持っている
- 録音に最高のサウンド品質と音声帯域を求めている
- オーディオトラックの抽出処理をしっかりと設定したい
- プロ品質の“Red ブック”オーディオ CD を作成したい

サポートされているファイルフォーマット

QuickTime® で認識されるオーディオファイルフォーマットを使用することができます。

www.apple.co.jp/quicktime をご覧ください。

オーディオ CD を作成するとき、必要に応じてオーディオファイルが自動的にコンバートされます。

MP3 ディスクを作成する

MP3 ディスクの作成については、63 ページの「MP3 ディスク作成の概要」をご覧ください。

オーディオ CD 用のメディアを選択する

メディアの種類については、9 ページの「使用するメディアの種類を選択する」をご覧ください。

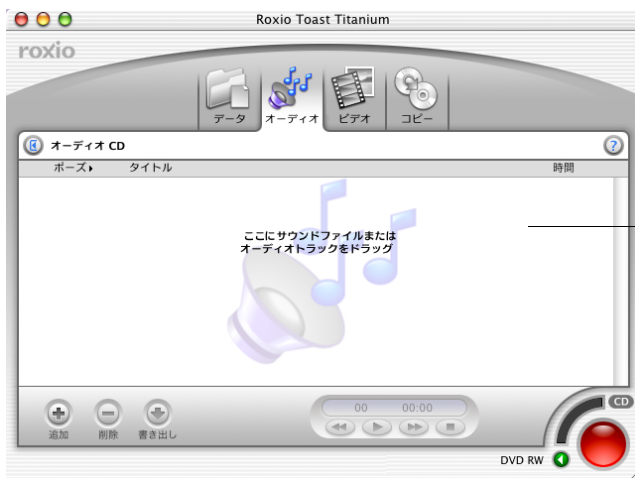
オーディオ CD 作成の概要

- 1 **オーディオディスクを開始する**：[オーディオ]タブをクリックしてオーディオディスクの設定を始めます。
- 2 **オーディオ CD フォーマットを選択する**：ディスクオプション設定画面で、オーディオ CD が選択されていることを確認します。
- 3 **オーディオ CD にオーディオファイルを追加する**：オーディオコンテンツ領域に、ほとんどすべての種類のオーディオファイルを追加することができます。
- 4 **オーディオ CD を書き込む**：オーディオファイルの追加や整理が完了したら、書き込みを行います。

新規オーディオ CD の作成を開始する

新規オーディオ CD の作成を開始するには：

- [オーディオ]タブをクリックします。
オーディオコンテンツ領域が表示されます。



オーディオ
コンテンツ領域
(オーディオ CD
フォーマットを
表示)

オーディオ CD フォーマットを選択する

オーディオ CD を選択するには：

- 1 [オーディオ] タブで、ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 [オーディオ CD] を選択します。

CD-TEXT 機能を使用する

CD-TEXT は、ディスクのタイトル、アーティスト名、トラックタイトルなどのテキスト情報をオーディオ CD に保存する機能です。この情報は、CD-TEXT 情報をサポートしているオーディオプレーヤで表示することができます。

お使いのレコーダが CD-TEXT に対応しており、ディスクを Disc-at-Once モードで書き込む場合、この機能を使用することができます。詳しくは 13 ページの「レコーダ設定を変更する」をご覧ください。

CD-TEXT 機能を使用するには：

- 1 [オーディオ] タブで、ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 CD-TEXT をオンするには [CD-TEXT] チェックボックスをオンにします。

オーディオ CD にオーディオファイルを追加する

次の方法でオーディオファイルをオーディオ CD に追加できます：

- ハードディスクからドラッグまたは追加する
- 既存のオーディオ CD から直接追加する
- iTunes® から直接ドラッグする

ハードディスクからオーディオファイルを追加する

次の方法でオーディオファイルをオーディオ CD に追加します：

- [オーディオ] タブを選択した状態で、ハードディスクにあるオーディオファイルをオーディオコンテンツ領域にドラッグします。
- [オーディオ] タブを選択した状態で、[追加] をクリックします。[開く] ダイアログが表示されたら、追加するファイルやフォルダを選択して [開く] をクリックします。

オーディオ CD からオーディオファイルを追加する

作成するオーディオ CD には、既存のどのオーディオ CD からでもファイルを追加できます。



メモ： お使いのコンピュータに一台のドライブしか接続されていない場合、オーディオディスクを作成する前に、書き込みたいオーディオトラックをいったんハードディスクへ書き出す必要があります。詳しくは 70 ページの「オーディオ CD からオーディオを書き出す」をご覧ください。

ソースディスクからオーディオ CD を作成するには：

- 1 ソースとなるオーディオ CD をソースドライブに挿入します。
- 2 次の方法でトラックを追加します：
 - デスクトップでソース CD のアイコンをダブルクリックし、その内容を表示します。ウインドウ内のオーディオトラックを選択し、オーディオコンテンツ領域へドラッグします。
 - Toast ウィンドウで、[追加] をクリックします。
[開く] ダイアログが表示されたら、追加するオーディオトラックを選択します。

CD から追加したトラックが Toast に表示されます。

iTunes からオーディオファイルを追加する

iTunes® からオーディオファイルを追加するには：

- 1 Toast の [オーディオ] タブに [オーディオ CD] フォーマットが表示されていることを確認します。
- 2 iTunes のいずれかのビューで、Toast に追加するオーディオファイルを選択します。
- 3 iTunes で選択したオーディオファイルを Toast のオーディオコンテンツ領域にドラッグします。

オーディオコンテンツ領域にファイルが追加されます。ディスクの書き込みを開始すると、必要に応じて Toast が自動的にオーディオファイルを AIFF にコンバートします。

オーディオ CD のファイルを編集する

オーディオファイルに次のような編集を行うことができます：

- オーディオトラックの順番を変更する
- 試聴する
- トラック情報を自動的に入力する
- 削除する
- 情報を見るまたは編集する
- トラック間のポーズを変更する

オーディオ CD でトラックの順番を変更する

オーディオ CD 上のオーディオファイルの順番を変更することができます。

オーディオトラックの順番を変更するには：

- 1 順番を変更するオーディオファイルを選択します。
- 2 オーディオファイルをトラックリストの新しい位置にドラッグします。(トラックリスト内のオーディオトラック間にある黒いバーは、オーディオファイルの新しい位置を示します。)

オーディオファイルを試聴する

次の方法でオーディオトラックをプレビューできます：

- プレビューするトラックのタイトルの左をクリックします。



- 再生コントロールを使用します。

再生コントロールを使用する：

再生コントロールを使用して、どのようなオーディオファイルでも再生、停止、一時停止ができ、さらにオーディオコンテンツ領域で次のオーディオファイルや前のオーディオファイルに移動することができます。



オーディオ CD のトラック情報を自動的に入力する

Toast でインターネット上のオンライントラックネーミングデータベースを検索し、オーディオトラックのアルバム、トラック、アーティスト名を自動的に入力することができます。検索に成功すると、そのディスクの情報が自動的に追加されます。

ソースディスクやソーストラックのタイトルを入力するには：

- 1 [オーディオ] タブをクリックして、オーディオコンテンツ領域を表示します。
- 2 ドライブにオーディオ CD を挿入します。
- 3 ディスクアイコンをオーディオコンテンツ領域にドラッグします。

CD に名前がつけられていない場合、画面で確認が求められます。アルバム、アーティスト、トラック情報を検索するには、[CDDB] をクリックしてデータベースを検索します。

- 4 インターネット接続を構築している場合、オンラインデータベースに接続されます。検索に成功すると、そのディスク情報がオーディオコンテンツ領域と iTunes®(R) で共有するデータベースに追加されます。

オーディオファイルを削除する

オーディオファイルをコンテンツ領域から削除してもハードディスクの元のファイルは削除されません。

オーディオコンテンツ領域からオーディオファイルを削除するには：

- 1 削除するオーディオファイルを選択します。
- 2 次の方法でオーディオファイルを削除します：
 - [削除] をクリックします。
 - delete キーを押します。
 - [編集] メニューから [消去] を選択します。

オーディオコンテンツ領域から選択したオーディオファイルが削除されます。

オーディオ CD (またはトラック) の情報を表示または編集する

オーディオ CD の情報を表示または編集するには：

- 1 次の方法でオーディオ CD の情報を表示または編集します：
 - トラックリスト内で、トラックのアイコンをダブルクリックします。
 - トラックリスト内で、トラックを選択し [ディスク] メニューから [トラック情報を表示 ...] を選択します。

オーディオ情報シートが表示されます。

- 2 [ディスク] タブでタイトルやアーティスト情報を編集できます。
- 3 完了したら [OK] をクリックします。

オーディオ CD トラックの情報を表示または編集するには：

- トラックリスト内でトラックを選択し、強調色が変わるのを待って、新しいトラック名を入力します。
- トラックリスト内で、トラックのアイコンをダブルクリックします(またはトラックを選択し [ディスク] メニューから [トラック情報を表示 ...] を選択)。

オーディオ情報シートが表示されます。[ディスク] タブでタイトルやアーティスト情報を入力できます。完了したら [OK] をクリックします。

トラック間のポーズを変更する

オーディオ CD の場合、トラック間に自動的に 2 秒間のポーズが挿入されます。オーディオコンテンツ領域にオーディオ CD をドラッグすると、Toast は 2 秒間のポーズを挿入します。



メモ： 最初のトラックの前にあるポーズは、2 秒ちょうどでなければなりません。

トラック間のポーズを変更するには：

- 1 ポーズを変更するトラックを選択します。
- 2 [ポーズ] 列をクリックします。
ポップアップメニューが表示され、使用可能なポーズ設定が表示されます。

	ポーズ	タイトル
1	2 秒	0 秒に設定
2	0 秒	0.5 秒に設定
3	0 秒	1 秒に設定
4	0 秒	1.5 秒に設定
5	0 秒	2 秒に設定
6	0 秒	3 秒に設定
7	0 秒	4 秒に設定
8	0 秒	5 秒に設定
9	0 秒	6 秒に設定
		7 秒に設定
		8 秒に設定

- 3 ポップアップメニューから、選択したトラックに割り当てるポーズを選択します。

オーディオ CD を書き込む

オーディオコンテンツ領域でオーディオファイルの整理が完了したら、オーディオ CD を書き込むことができます。



メモ： CD に書き込む前に、別のレコーダを選択したり、レコーダ設定を変更することができます。詳しくは 12 ページの「レコーダを選択する」または 13 ページの「レコーダ設定を変更する」をご覧ください。

ディスクを書き込むには：

- 1 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 2 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。

オーディオディスクが書き込まれる間、進行状況がバーで表示されます。

MP3 ディスクを作成する



本章の内容

MP3 ディスクとは？	62
MP3 用のディスクメディアを選択する	62
MP3 ディスク作成の概要	63
新規 MP3 ディスクの作成を開始する	63
MP3 ディスクフォーマットを選択する	64
MP3 ディスクに MP3 ファイルまたはフォルダを追加する	64
MP3 ディスクの MP3 ファイルを編集する	65
MP3 ディスクを書き込む	67

MP3 ディスクとは？

MP3 ディスクはMP3 ファイルフォーマットのオーディオファイルを含むCDまたはDVDのことで、MP3 ディスクプレーヤ、コンピュータ、および機種によっては、DVD プレーヤで再生することができます。MP3 ディスクを作成する場合はMP3 ファイルのみを使用する必要があります。

MP3 ファイルは圧縮されており、同等のMP3 に対して約10倍の大きさを持つオーディオCDのオーディオトラックに比べると、使用するスペースが格段に少なくなっています。MP3 ファイルは高圧縮されているため、オーディオCDトラックに比べて品質や音声帯域がいくぶん限定されますが、その違いはほとんど識別できません。

オーディオCDではなくMP3 ディスクを選択するケース

以下のいずれかの場合、MP3 ディスクを選択します：

- 1つのディスクに大量のオーディオを記録したい場合—標準のオーディオCDの約10倍
- オーディオファイルをできるだけ小さくしたい場合
- トラックをフォルダでグループ化して整理したい場合（たとえばアルバムごとにフォルダを作成）

サポートされているファイルフォーマット

MP3 ディスクにはMP3 ファイルのみを含めることができます。オーディオをMP3 フォーマットにエンコードするにはiTunes®を使用します。

オーディオCDを作成する

オーディオCDの作成については、53ページの「オーディオCD作成の概要」をご覧ください。

MP3用のディスクメディアを選択する

メディアの種類については、9ページの「使用するメディアの種類を選択する」をご覧ください。

MP3 ディスク作成の概要

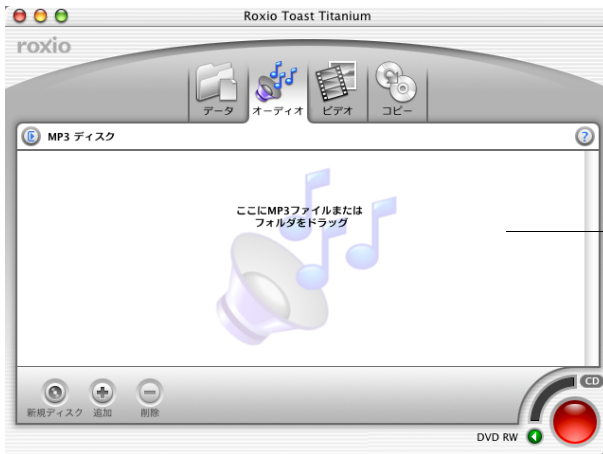
- 1 **MP3 ディスクの作成を開始する**：[オーディオ]タブをクリックしてオーディオディスクの設定を始めます。
- 2 **MP3 ディスクフォーマットを選択する**：ディスクオプション設定画面でMP3 ディスクを選択します。MP3 ディスクが選択されていることを確認してください。
- 3 **MP3 ファイルを Toast に追加する**：MP3 ファイルをオーディオコンテンツ領域に追加します。
- 4 **MP3 ディスクを書き込む**：MP3 ファイルの追加や整理が完了したら、書き込みを行います。

新規 MP3 ディスクの作成を開始する

新規 MP3 ディスクの作成を開始するには：

- [オーディオ]タブをクリックします。

オーディオコンテンツ領域が表示されます。



オーディオコンテンツ領域
(MP3 フォーマットを表示)

MP3 ディスクフォーマットを選択する

MP3 ディスクを選択するには：

- 1 [オーディオ] タブで、ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
[MP3 ディスク] を選択します。

MP3 ディスクに MP3 ファイルまたはフォルダを追加する

次の方法で MP3 ファイルを MP3 ディスクに追加できます：

- ハードディスクからドラッグまたは追加する
- データディスクまたは既存の MP3 ディスクから直接追加する
- iTunes® から直接ドラッグする

ハードディスクから MP3 ファイルを追加する

次の方法で MP3 ファイルをハードディスクから追加できます：

- [オーディオ] タブを選択した状態で、ハードディスクにある MP3 ファイルまたはフォルダをオーディオコンテンツ領域にドラッグします。
- [オーディオ] タブを選択した状態で、[追加] をクリックします。[オブジェクトの選択] ダイアログが表示されたら、追加するファイルやフォルダを選択して [選択] をクリックします。

データディスクまたは既存のディスクから MP3 ファイルを追加する

既存のどのディスクからでも、作成する MP3 ディスクに MP3 ファイルを追加することができます。



メモ： お使いのコンピュータにレコーダが一台しか接続されていない場合、いったん MP3 ファイルをハードディスクにコピーして、その後ハードディスクから Toast に追加する必要があります。詳しくは 38 ページの「データディスクにファイルまたはフォルダを追加する」をご覧ください。

ソースディスクから MP3 ディスクを作成するには：

- 1 ソースディスクをソースドライブに挿入します。
 - 2 次の方法で MP3 ファイルを追加します：
 - デスクトップでソースディスクのアイコンをダブルクリックし、その内容を表示します。ウインドウ内の MP3 ファイルを選択し、オーディオコンテンツ領域へドラッグします。
 - Toast ウインドウで、[追加] をクリックします。
 ダイアログが表示されたら、追加する MP3 ファイルを選択します。
- 追加した MP3 ファイルが Toast のオーディオコンテンツ領域に表示されます。

iTunes から MP3 ファイルを追加する

iTunes から MP3 ファイルを追加するには：

- 1 Toast の [オーディオ] タブに [MP3 ディスク] フォーマットが表示されていることを確認します。
- 2 iTunes のいずれかのビューで、Toast に追加する MP3 ファイルを選択します。
- 3 iTunes で選択した MP3 ファイルを Toast のオーディオコンテンツ領域にドラッグします。

MP3 ディスクの MP3 ファイルを編集する

オーディオコンテンツ領域に追加した MP3 ファイルやフォルダを次のように整理することができます：

- 新規フォルダを作成する
- ファイルまたはフォルダを整理する
- ファイル名またはフォルダ名を変更する
- ファイルまたはフォルダを削除する

MP3 ディスク内に新規フォルダを作成する

ハードディスク上と同じように、MP3 ディスク内にフォルダを作成したり、整理することができます。これは、アルバムごとに分けたフォルダに MP3 ファイルを格納する場合などに便利です。(MP3 ディスク上にフォルダを追加しても、ハードディスク上には影響ありません。)

MP3 ディスクにフォルダを作成するには：

- 1 オーディオコンテンツ領域で、新規フォルダを追加するフォルダを選択します。
- 2 以下のいずれかの操作を行ってください。
 - [新規フォルダ] をクリックして新規フォルダを作成します。新規フォルダが、オーディオコンテンツ領域の現在選択されているフォルダの下に表示されます。
 - 複数のフォルダを作成するには、ハードディスクにフォルダを作成し、64 ページの「ハードディスクから MP3 ファイルを追加する」の手順にそって、それらをオーディオコンテンツ領域に追加します。

MP3 ディスク内のファイルやフォルダを整理する

ハードディスク上のファイルやフォルダと同様に、MP3 ディスク内のファイルやフォルダの構成を変更して整理することができます。これは、アルバムごとに分けたフォルダに MP3 ファイルを格納する場合などに便利です。(MP3 ディスク上のフォルダを整理しても、ハードディスク上には影響ありません。)

ファイルやフォルダを整理するには：

- オーディオコンテンツ領域で MP3 ファイルやフォルダを選択し、追加先のフォルダにドラッグ&ドロップします。

MP3 ファイル、フォルダ、またはディスクの名前を変更する

MP3 ディスク内のファイル、フォルダ、またはディスクの名前を変更するには：

- 1 オーディオコンテンツ領域で、名称変更したい項目の名前の部分を軽くクリックします。
しばらくすると項目名が選択された状態になります。
- 2 項目の新しい名前を入力します。
- 3 次の項目の名前も変更したい場合、tab キーを押します。
enter キーを押して名前を変更します。

MP3 ファイルまたはフォルダを削除する

オーディオコンテンツ領域から MP3 ファイルやフォルダを削除することができます。(ハードディスクや iTunes® ライブラリにある元の MP3 ファイルやフォルダは削除されません。)

MP3 ディスクからファイルやフォルダを削除するには：

- 1 オーディオコンテンツ領域で、削除する MP3 ファイルやフォルダを選択します。
- 2 次の方法でファイルやフォルダを削除します：
 - [削除] をクリックします。
 - delete キーを押します。
 - [編集] メニューから [消去] を選択します。

データコンテンツ領域からファイルやフォルダが削除されます。

MP3 ディスクを書き込む

オーディオコンテンツ領域でオーディオファイルの整理が完了したら、書き込み可能な CD または DVD に書き込みを行います。



メモ： CD に書き込む前に、別のレコーダを選択したり、レコーダ設定を変更することができます。詳しくは 12 ページの「レコーダを選択する」または 13 ページの「レコーダ設定を変更する」をご覧ください。

MP3 ディスクを書き込むには：

- 1 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 2 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。

MP3 ディスクが書き込まれる間、進行状況がバーで表示されます。

オーディオ機能を使用する

本章の内容

異なるソースからオーディオを書き出す	70
オーディオディスクをコピーする	72
レコードまたはカセットテープをデジタル化する	72
高度なオーディオディスクを作成する	73

異なるソースからオーディオを書き出す

Toast では以下のどのソースからもオーディオを書き出して AIFF ファイルとして保存することができます：

- オーディオ CD
- iTunes®
- QuickTime® ビデオ ファイル

オーディオ CD からオーディオを書き出す

オーディオ CD からオーディオトラックを書き出して、ハードディスクに直接 AIFF ファイルとして保存することができます。これは次のような場合に行います。

- 異なるソースからの異なるタイプのファイルを一枚のオーディオ CD に混在させる場合
- 別のアプリケーションでオーディオファイルを使用し、コピーをハードディスクに保存しておく場合
- コンピュータにドライブが一台しか接続されていない場合

オーディオトラックをハードディスクに書き出すには：

- 1 [オーディオ] タブを表示した状態で、ドライブにオーディオ CD を挿入します。
- 2 デスクトップにディスクのアイコンが表示されたら、次のいずれかの操作を行います。
 - ディスクからすべてのオーディオファイルを書き出すには、ディスクのアイコンをオーディオコンテンツ領域にドラッグします。
ディスク上のすべてのコンテンツが、オーディオコンテンツ領域に表示されます。
 - 選択したオーディオトラックのみを書き出すには、ディスクのアイコンをダブルクリックして開きます。表示されたウィンドウ内で書き出したいファイルすべてを選択し、オーディオコンテンツ領域にドラッグします。
選択したファイルがオーディオコンテンツ領域に表示されます。
- 3 [書き出し] ボタンをクリックします (または [ディスク] メニューから [オーディオ書き出し...] を選択)。
[保存名] ダイアログが表示され、[別名で保存] 欄に最初に選択したファイルの名前が表示されます。

- 4 [別名で保存] 欄に別の名前を入力して、最初書き出すオーディオファイルに新しい名前を付けることもできます。(最初にハードディスクに書き出されるファイルのみ新しい名前になります。)
- 5 [場所] ポップアップメニューから、ハードディスク内のファイルの保存場所を指定します。

iTunes からオーディオファイルを書き出す

iTunes® から、オーディオファイルをハードディスク上に書き出すことができます。Toast はオーディオファイルを自動的に AIFF フォーマットに変換します。

iTunes から Toast へオーディオファイル書き出すには：

- 1 Toast の [オーディオ] タブで、ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で [オーディオ CD] を選択します。
- 3 iTunes 上で、書き出したいオーディオファイルを選択して、Toast へドラッグします。
Toast は、必要に応じてオーディオファイルを自動的に AIFF フォーマットに変換します。
- 4 [書き出し] ボタンをクリックします (または [ディスク] メニューから [オーディオ書き出し...] を選択)。
[保存名] ダイアログが表示され、[別名で保存] 欄に最初選択したファイルの名前が表示されます。
- 5 [別名で保存] 欄に別の名前を入力して、最初書き出すオーディオファイルに新しい名前を付けることもできます。(最初にハードディスクに書き出されるファイルのみ新しい名前になります。)
- 6 [場所] ポップアップメニューから、ファイルを書き出したいハードディスク内の場所を指定します。

QuickTime ビデオファイルからオーディオを書き出す

QuickTime ビデオファイルから、オーディオ部分をハードディスク上へ書き出すことができます。Toast はオーディオファイルを自動的に AIFF フォーマットに変換します。

QuickTime ビデオファイルからオーディオを書き出すには：

- 1 Toast の [オーディオ] タブで、ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で [オーディオ CD] を選択します。
- 3 オーディオコンテンツ領域に QuickTime ビデオファイルをドラッグします。
Toast は自動的に QuickTime ビデオファイルのオーディオ部分を書き出し、AIFF フォーマットに変換します。
- 4 [書き出し] ボタンをクリックします (または [ディスク] メニューから [オーディオ書き出し...] を選択)。
[保存名] ダイアログが表示され、[別名で保存] 欄に最初に選択したファイルの名前が表示されます。
- 5 [別名で保存] 欄に別の名前を入力して、最初に取り出すオーディオファイルに新しい名前を付けることもできます。(最初にハードディスクに書き出されるファイルのみ新しい名前になります。)
- 6 [場所] ポップアップメニューから、ファイルを書き出したいハードディスク内の場所を指定します。

オーディオディスクをコピーする

他のシングルセッションディスクと同様に、オーディオディスクをコピーすることができます。詳しくは 108 ページの「ディスクコピーの概要」をご覧ください。

レコードまたはカセットテープをデジタル化する



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

CD Spin Doctor 2 は、レコードやカセットテープから、デジタルオーディオを作成することができるソフトウェアです。このソフ

トウェアは、Toast をインストールすると自動的にインストールされます。

オーディオをレコードプレーヤやカセットデッキから CD Spin Doctor に読み込んだら、オーディオに次のような処理を行うことができます：

- トラックを定義する
- ノイズを低減し、サウンドの質を高める
- トラックを直接 Toast に送信してディスクに書き込む
- トラックをハードディスクに保存する

CD Spin Doctor を起動するには：

- [CD Spin Doctor] アイコンをダブルクリックします。

テキストを検索してヘルプを見るには：

- CD Spin Doctor の [ヘルプ] メニューから [CD Spin Doctor ヘルプ] を選択します。

高度なオーディオディスクを作成する



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

[オーディオ] タブのディスクオプション設定画面では、以下の種類のディスクを作成することができます：

- **エンハンストオーディオ CD：** オーディオトラックと写真やビデオなど、Enhanced コンテンツを含むオーディオ CD を作成します。CD のオーディオ部分は CD プレーヤで再生することができ、Enhanced コンテンツは Macintosh や Windows のコンピュータで使用することができます。
- **ミックスモード CD：** 1 つのセッションにデータとオーディオの両方を含む CD を作成します。

これらの機能についての詳しい情報を見るには、Toast ヘルプを起動し、トピックリンクのリストをクリックして、必要なトピックをご覧ください。

ビデオ / 写真

- | | | |
|----|---------------------------------|-----|
| 10 | ビデオディスクを作成する | 77 |
| 11 | DV カメラ (Plug & Burn) からビデオを読み込む | 93 |
| 12 | ビデオ機能を使用する | 101 |

10 ビデオディスクを 作成する

本章の内容

ビデオディスクとは？	78
ビデオディスク用のメディアを選択する	78
ビデオディスクのメニューとボタンを理解する	78
ビデオディスク作成の概要	79
ビデオディスクの作成を開始する	80
ビデオディスクの設定を変更する	80
ビデオまたはスライドショーをビデオディスクに追加する	82
ビデオコンテンツ領域のビデオファイルを編集する	86
ビデオコンテンツ領域のスライドショーを編集する	88
ビデオディスクのコンテンツを編集する	90
ビデオディスクを書き込む	91

ビデオディスクとは？

ビデオディスクはビデオや写真スライドショーが入った CD または DVD で、DVD プレーヤもしくはコンピュータで再生できます。

サポートされているビデオと写真ファイルの形式

Quick Time® で認識されるビデオファイルや写真ファイル形式を使用することができます。www.apple.co.jp/quicktime をご覧ください。

必要に応じて、Toast は書き込みの際にファイルを自動的にコンバートします。

ビデオディスク用のメディアを選択する

メディアの種類については、9 ページの「使用するメディアの種類を選択する」をご覧ください。

ビデオディスクのメニューとボタンを理解する

Toast で作成するビデオディスクには市販されている DVD と同様にボタンを含むメニュー（DVD メニューまたは VCD メニュー）を持つことができます。完成したビデオディスクでは、メニューを使用してビデオやスライドショーを再生することができます。

Toast でメニューを作成する

ビデオまたはスライドショーが追加されると、Toast は完成後のビデオディスクに表示されるメニューを自動的に作成します。

Toast でメニューを作成しないようにするには：

詳しくは 102 ページの「ビデオディスクのメニューを作成する、しないを切り替える」をご覧ください。

Toast でボタンを作成する

Toast では、ビデオディスクに追加した各ビデオファイルや写真スライドショーはメニュー上にボタンとして表示されます。

メニューにはいくつのボタンを使用できますか？

1 つのメニューには最大 3 つまでのボタンが含まれます。各ボタンはビデオもしくはスライドショーにリンクされています。メニューのボタンが 3 つ以上になると、Toast は自動的に新しいメニューを作成し、そこにボタンを追加します。

ビデオディスク作成の概要

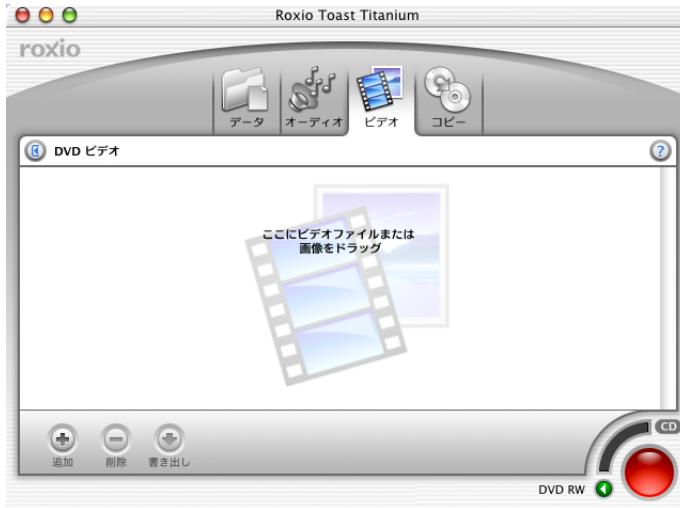
ビデオディスクの作成手順：

- 1 新規ビデオディスクの作成を開始する：** [ビデオ] タブをクリックし、ビデオディスクのセットアップを開始します。
- 2 ビデオディスクの設定を変更する (オプション)：** ビデオディスクの設定を変更できます。また、Toast が保存している前回使用した設定をそのまま使用できます。ここで重要なことは、ビデオ CD、スーパービデオ CD または DVD のいずれを作成するか設定することです。
- 3 コンテンツをビデオディスクに追加する：** ビデオディスクのビデオと写真のコンテンツを組み合わせたり、または直接 DV カメラから読み込むことができます。
- 4 ビデオディスクを書き込む：** 上記の手順が済んでから、ビデオまたは写真スライドショーをディスクに書き込むことができます。

ビデオディスクの作成を開始する

新しいビデオディスクの作成を開始するには：

- [ビデオ] タブをクリックします。
ビデオコンテンツ領域が表示されます。



ビデオディスクの設定を変更する



メモ： Toast Titanium でのみ使用することができる機能もあります。詳しい情報や製品の購入に関しては、
http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

ビデオディスクの様々な設定を変更することができます。ここで重要な設定は、ディスクの種類、ビデオ規格、エンコーディングの種類です。

ビデオディスクの設定を変更するには：

- 1 [ビデオ] タブで、ディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 書き込むディスクのフォーマットを選択します：

- **VCD** (ビデオ CD) : VCD フォーマットの、書き込み可能な CD ディスク。ほとんどの新型モデル DVD プレーヤーで再生することができます。VCD には、約 60 分間のビデオを収録できますが、SVCD や DVD フォーマットに比べて品質が劣ります。
- **SVCD** (スーパービデオ CD) : SVCD フォーマットの、書き込み可能な CD ディスク。多くの新型モデルの DVD プレーヤーで再生することができます。SVCD には、約 45 から 60 分のビデオが収録でき、VCD フォーマットよりも高い品質ですが DVD フォーマットほど品質は高くありません。



メモ : VCD および SVCD ディスクは、ほとんどの新型 DVD プレーヤーで再生できますが、多くの旧型 DVD プレーヤーでは、再生できないことがあります。

- **DVD** : 書き込み可能な DVD ディスク。ほとんどの DVD プレーヤーで再生できます。DVD は、最高品質で 60 分以上のビデオが収録できます。
- 3 ディスクのビデオ規格を選択します :
- **NTSC** : 北アメリカ、日本、南アメリカとアジアの一部の地域のテレビと互換性のある NTSC ビデオ規格でディスクを書き込むには、このオプションを選択します。
 - **PAL** : 多くのヨーロッパとアジアの地域、南アメリカの一部の地域のテレビと互換性のある PAL ビデオ規格でディスクを書き込むには、このオプションを選択します。
- 4 ビデオ品質ポップアップメニューからビデオエンコーディングの種類を選択します :
- **標準品質** : 高品質オプションよりも短時間でエンコーディングを行いますが、品質が劣ります。ビデオの品質よりもエンコーディング時間を重視する場合は、このオプションを選択します。
 - **高品質** : 標準品質オプションよりも時間がかかりますが、高い品質でエンコーディングを行います。エンコーディング速度よりもビデオ品質を重視する場合はこのオプションを選択します。



メモ： どちらのビデオ品質設定を選んだ場合でも、Toast はディスクの書き込み可能領域のすべてを使用するために、自動的にエンコードレートを調節します。ディスクに書き込むデータが少ないほど、品質が向上します。このことは、書き込み時間には影響しません。

ビデオディスクにオリジナル写真を含める

ビデオディスクにスライドショーを含める場合、ディスク内の別のフォルダにスライドショーに使用されている写真の元データを含むことができます。ディスクをコンピュータで使用しているときに、このフォルダにアクセスすることができます。

ビデオディスクにオリジナル写真を含めるには：

- 1 [ビデオ] タブでディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
 ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で [オリジナル写真を加える] チェックボックスをオンにします。

ビデオまたはスライドショーをビデオディスクに追加する

次の方法でビデオまたはスライドショーをビデオディスクに追加できます。

- ハードディスクからビデオをドラッグ、または [追加] ボタンで追加する
- ビデオを DV カメラから読み込む
- iMovie™ プロジェクトを追加する
- ハードディスクから写真をドラッグ、または [追加] ボタンで追加する
- iPhoto™ の写真を追加する

追加した各ビデオや写真のグループはビデオコンテンツ領域でそれぞれ別の行として表示され、作成したディスクには各行がボタンになって表示されます。また、既存のスライドショーに写真を追加することもできます。詳しくは 78 ページの「ビデオディスクのメニューとボタンを理解する」をご覧ください。

ハードディスクからビデオを追加する

次の方法でハードディスクからビデオを追加できます：

- [ビデオ] タブを選択した状態で、ハードディスクからビデオファイルをビデオコンテンツ領域にドラッグします。
- [ビデオ] タブを選択した状態で、[追加] をクリックします。[開く] ダイアログが表示されます。追加したいファイルを選択して[開く] をクリックします。

追加した各ビデオファイルはビデオコンテンツ領域で行として表れ、各行は作成したビデオディスクの DVD メニューまたは VCD メニューにボタンとして表示されます。完成したビデオディスクがテレビにどのように表示されるかについては、78 ページの「ビデオディスクのメニューとボタンを理解する」をご覧ください。



DV カメラ (Plug & Burn) からビデオを読み込む



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

Plug & Burn™ を使うと簡単にビデオを DV カメラから Toast に読み込めます。Plug & Burn の詳細については、94 ページの「Plug & Burn とは？」をご覧ください。

iMovie プロジェクトを Toast に追加する

iMovie プロジェクトを Toast に追加するには：

- 1 iMovie™ プロジェクトを保存します。
- 2 iMovie プロジェクトのあるフォルダを開きます。
- 3 iMovie のクリップファイルを Toast にドラッグ&ドロップします。

Toast はムービーをビデオコンテンツ領域に追加します。



メモ： 詳細については、アプリケーション付属の説明書をご覧ください。

ハードディスクから写真を追加する

写真をハードディスクからビデオディスクに追加できます。追加した写真で新しいスライドショーを作ったり、既存のスライドショーに写真を追加することができます。

次の方法で写真をハードディスクから追加します：

- [ビデオ] タブを選択した状態で、写真（または写真を含むフォルダ）をハードディスクからビデオコンテンツ領域にドラッグします。
- [ビデオ] タブを選択した状態で、[追加] をクリックします。[開く] ダイアログが表示されます。追加したいファイルを選択して [開く] をクリックします。

各スライドショーはビデオコンテンツ領域で行として表示され、各行は作成したビデオディスクの DVD メニューまたは VCD メニューにボタンとして表示されます。完成したビデオディスクがテレビにどのように表示されるかについては、78 ページの「ビデオディスクのメニューとボタンを理解する」をご覧ください。



ビデオ

スライド
ショー

iPhoto から写真を追加する

iPhoto から Toast に写真を追加するには：

- 1 Toast に [ビデオ] タブが表示されていることを確認します。
- 2 iPhoto ライブラリで、Toast に追加する写真を選択します。
- 3 新しいスライドショーを追加したり、既存のスライドショーに写真を追加することができます。
 - ビデオコンテンツ領域に別のスライドショーを追加するには、選択している写真を iPhoto からビデオコンテンツ領域の空いている部分にドラッグします。
 - 写真をビデオコンテンツ領域の既存のスライドショーに追加するには、選択した写真を iPhoto からビデオコンテンツ領域の既存スライドショーフォルダにドラッグします。

写真がビデオコンテンツ領域に追加されます。ディスクを書き込むと、各スライドショーがディスクの DVD メニューまたは VCD メニューにボタンとして表示されます。

ビデオコンテンツ領域のビデオファイルを編集する

次の方法でビデオファイルを編集できます：

- Toast でビデオをトリミングして、ビデオの必要な部分のみディスクに書き込む
- ビデオのメニューボタンに使う画像を設定する

ビデオのトリミング

ビデオをトリミングして、Toast がディスクに書き込むビデオの部分を指定することができます。この編集は、ハードディスク上にある元のビデオファイルには影響しません。



メモ： ビデオによっては、トリミングできないことがあります。

ビデオをトリミングするには：

- 1 ビデオコンテンツ領域で、トリミングするビデオファイルを選択し、[編集 ...] をクリックします。をクリックします。
編集シートが表示されます。
- 2 編集シートの [ビデオ] タブをクリックします。
- 3 ビデオプレビューで、再生コントロールを使用してトリミングを行います：



- 再生ヘッドをドラッグし、ビデオをプレビューする。
- 開始マーカーをドラッグして、ビデオの開始位置に印をつける。
開始マーカーより左側のビデオの内容は作成されたビデオディスクに含まれません。
- 終了マーカーをドラッグして、ビデオの終了位置に印をつける。

終了マーカーより右側のビデオの内容は作成されたビデオディスクに含まれません。



ビデオファイルのボタンピクチャを設定する

作成したビデオディスクをテレビで見たときに DVD メニューもしくは VCD メニューに表示されるボタンの画像として、ビデオファイルの特定のフレームを指定することができます。

ボタンピクチャを設定するには：

- 1 ビデオコンテンツ領域で、ボタンピクチャを設定するビデオファイルを選択し、[編集 ...] をクリックします。

編集シートが表示されます。

- 2 編集シートの [ビデオ] タブをクリックします。



3 次のいずれかの方法でボタンピクチャとして使用するビデオフレームを選択します：

- ビデオプレビューウィンドウで、再生ヘッドを前後にドラッグし、使用したいビデオフレームが見つかるまでビデオをプレビューします。
- ビデオを通して再生するには再生ボタンをクリックします。使用したいビデオフレームが見つかったら、一時停止ボタンをクリックします。

4 [ボタンピクチャ設定] ボタンをクリックします。

選択したビデオフレームが [ビデオ] タブの左上にある ボタンプレビュー に表示されます。

ビデオコンテンツ領域のスライドショーを編集する

次の方法でスライドショーを編集します：

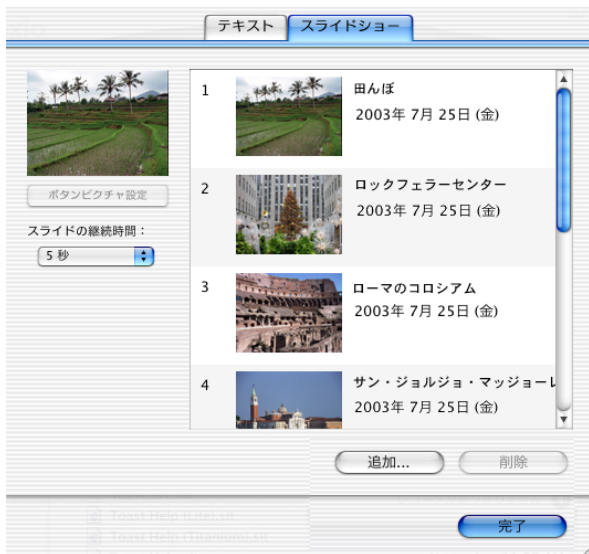
- スライドショーのメニューボタンに使う画像を設定する
- 次のスライドに移るまでの時間を設定する
- スライドショーに写真を追加、あるいはスライドショーから写真を削除する

スライドショーの編集を行うには：

1 ビデオコンテンツ領域で、編集するスライドショーを選択し、[編集...] をクリックします。

編集シートが表示されます。

2 編集シートの [スライドショー] タブをクリックします。



3 スライドショーのボタンピクチャを設定する：

- 写真のリストからボタンピクチャとして使用する写真を選択してクリックし、[ボタンピクチャ設定] ボタンをクリックします。

選択した写真がボタンプレビューに表示されます。

4 [スライドの継続時間] ポップアップメニューから、スライドショーで次の写真に移るまでのスライドの表示時間を選択します。

- スライドを自動で切り替える場合は、秒数を選択します。
- スライドを自動的に切り替えたくないときは、[手動] を選択します。作成されたディスクを見るときは、DVD プレーヤのリモコンを使用して次のスライドに進むことができます。

5 次の方法で写真を追加します。

- 写真をハードディスクから [スライドショー] タブにドラッグします。

- [追加] をクリックします。[開く] ダイアログが表示されたら、追加したい写真を選択して [開く] をクリックします。

追加した写真はスライドショーの一部となります。

- 6 写真を削除するには、削除する写真を選択し、[削除] をクリックします (iPhoto やハードディスク上にある元の写真は削除されません)。
- 7 スライドショーの編集が完了したら [完了] をクリックします。

ビデオディスクのコンテンツを編集する

次の方法でビデオコンテンツ領域のファイルを編集します：

- ビデオやスライドショーの順序を並び替える
- ビデオやスライドショーの情報を表示 (または編集)

ビデオやスライドショーの順序を並び替える

ビデオやスライドショーの順序を並び替えるには：

- 1 ビデオコンテンツ領域で、移動するビデオまたはスライドショーを選択します。
- 2 ビデオまたはスライドショーをビデオコンテンツ領域内の任意の位置にドラッグします。

黒太のバーがビデオまたはスライドショーの移動場所を示します。これで、作成したディスクで表示される順番が変更されます。

ビデオやスライドショーの情報の表示 (または編集)

ビデオやスライドショーの情報を表示したり、編集したりすることができます。この情報は、作成したビデオディスクのメニューに表示されます ([DVD メニューを作成] もしくは [VCD メニューを作成] チェックボックスがオンになっている場合)。

ビデオやスライドショーの詳細情報を表示、または編集するには：

- 1 ビデオコンテンツ領域で、編集したいビデオまたはスライドショーを選択して [編集...] をクリックします。

ビデオまたはスライドショーの情報を含む編集シートが表示されます。

ビデオやスライドショーの次のような情報は [テキスト] タブに表示されます。

- **ビデオまたはスライドショーのファイル名**：項目のファイル名。
 - **ビデオまたはスライドショーのタイトル**：作成したビデオディスクの DVD メニューもしくは VCD メニューのボタンの隣に表示されるタイトル。新しいタイトルを入力できます。
 - **日付**：項目が最初に保存された日付。
 - **時間**：項目が最初に保存された時間。
 - **デフォルトを使用**：タイトル、日付、時間について、元のソースファイルのデフォルト値を使用するにはこのボタンをクリックします。
- 2 ビデオファイルについては、[ビデオ] タブをクリックします。詳しくは 86 ページの「ビデオコンテンツ領域のビデオファイルを編集する」をご覧ください。

スライドショーについては、[スライドショー] タブをクリックします。詳しくは 88 ページの「ビデオコンテンツ領域のスライドショーを編集する」をご覧ください。

ビデオディスクを書き込む

ビデオコンテンツ領域でビデオや写真の整理が完了したら、書き込み可能な CD（VCD または SVCD）または DVD に書き込みを行います。



メモ：書き込みを行う前に、別のレコーダを選択したり、レコーダ設定を変更することができます。詳しくは 12 ページの「レコーダを選択する」または 13 ページの「レコーダ設定を変更する」をご覧ください。

ビデオディスクを書き込むには：

- 1 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 2 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。
ビデオディスクが書き込まれる間、進行状況がバーで表示されます。

ビデオエンコーディングに時間がかかる理由

VCD、SVCD、DVD のエンコーディングには時間がかかります。ビデオファイルはとても大きく、CD または DVD に収めるために圧縮（エンコード）される必要があります。1 分間分のビデオをエンコードするのに数分かかることがあります。

Toast がビデオをエンコードしている間に作業を続けられますか？

作業を続けられますが、エンコード時間が長くなります。

DV カメラ (Plug & Burn) から ビデオを読み込む

本章の内容

Plug & Burn とは？	94
クイック Plug & Burn	95
その他の Plug & Burn の使用方法	96
DV カメラをコンピュータに接続する	97
ビデオ再生コントロールを使用してテープの開始位置を指定する	98
DV カメラのビデオ を Toast に読み込む	98
読み込み後にビデオプロジェクトを完了する	99

Plug & Burn とは？



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

Plug & Burn™ を使用して、ビデオを DV カメラから Toast に読み込み、ディスクに書き込むことができます。

Plug & Burn のいろいろな使用方法

Plug & Burn の使用方法：

- **クイック Plug & Burn：** ビデオを DV カメラのテープからディスクに素早く書き込む場合。
- **追加コンテンツを含む Plug & Burn：** DV カメラのテープからビデオをプロジェクトに読み込み、さらに別のビデオや写真スライドショーをプロジェクトに追加する場合。
- **追加コンテンツとクロッピングを含む Plug & Burn：** DV カメラのテープからビデオをプロジェクトに読み込み、さらに別のビデオまたは写真スライドショーをプロジェクトに追加する場合。また、ビデオファイルの一部をトリミングしたり、ボタンピクチャとして使うビデオフレームを選択することもできます。

クイック Plug & Burn

このセクションでは、最も素早く DV カメラからディスクにビデオを書き込む方法を説明します。

- 1 DV カメラを Firewire ケーブルを経由してコンピュータに接続します。電源がオンになっていることを確認し、再生モードに切り替えます。

Toast が DV カメラを検出すると、ビデオコンテンツ領域に DV カメラのアイコンが表示されます。



- 2 読み込みを始める前に、自動的にテープの始めまで巻き戻すには、[巻き戻し]をチェックします。
- 3 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 4 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。

Toast がビデオファイルをハードディスクにキャプチャしている間、リアルタイムで DV カメラが再生されます。

DV カメラのテープの終わりに達すると（あるいはテープが止まると）、ビデオの読み込みが停止され、ビデオファイルが保存され、ビデオコンテンツ領域に追加されます。



引き続き、ディスクの書き込みが始まります。書き込みの進行状況がバーで表示されます。

その他の Plug & Burn の使用方法

クイック Plug & Burn 以外にも、別の Plug & Burn の使用方法があります：

追加コンテンツを含む Plug & Burn の概要

- 1 **接続する**：DV カメラをコンピュータに接続します。
- 2 **読み込む**：DV カメラから Toast にビデオを読み込みます。
- 3 **追加する**：別のビデオまたはスライドショーを追加します。
- 4 **書き込む**：ビデオディスクを書き込みます。

追加コンテンツと編集を含む Plug & Burn の概要

- 1 **接続する** : DV カメラをコンピュータに接続します。
- 2 **読み込む** : DV カメラから Toast にビデオを読み込みます。
- 3 **追加する** : 別のビデオまたはスライドショーを追加します。
- 4 **編集する** : DV カメラからのビデオファイルのどの部分をディスクに書き込むか指定します。
- 5 **書き込む** : ビデオディスクを書き込みます。

DV カメラをコンピュータに接続する

DV カメラをコンピュータに接続するには :

- 1 [ビデオ] タブをクリックします。
- 2 DV カメラを Firewire ケーブルを経由してコンピュータに接続します。電源がオンになっていることを確認し、再生モードに切り替えます。

Toast が DV カメラを検出すると、ビデオコンテンツ領域に DV カメラのアイコンが表示されます。




ビデオ再生コントロールを使用してテープの開始位置を指定する

DV カメラのアイコンが Toast 上に表示されたら、ビデオ再生コントロールを使用してテープの早送りや巻き戻しを行い、ビデオの読み込み開始位置を指定することができます。DV カメラのビデオは、ビデオコンテンツ領域に表示されます。



メモ： Toast で自動的にテープの最初まで巻き戻してから読み込みを開始するには、[読み込み ...] ボタンをクリックします。表示されたシートで [テープ巻き戻し] オプションを選択します。

ビデオ再生コントロールを使用するには：

 DVD ビデオ： 名称未設定 DVD



DV カメラアイコンはデジタルビデオのサムネイルプレビューに替わります。



DV カメラのビデオ を Toast に読み込む

DV カメラをコンピュータに接続し、テープの読み込み開始位置を決定したら、ビデオの読み込みを開始します。

DV カメラから Toast にビデオを読み込むには：

- ビデオコンテンツ領域で、DV カメラのアイコンが表示されている行の [読み込み ...] ボタンをクリックします。

- 表示されたシートで [読み込み] をクリックします。

Toast は、リアルタイムで DV カメラを再生しながらビデオをキャプチャして、ハードディスク上にビデオファイルとして書き込みます。

DV カメラのテープが終わりに達すると（あるいはテープを止めると）、ビデオの読み込みが停止され、ビデオファイルが保存され、ビデオコンテンツ領域に追加されます。

読み込み後にビデオプロジェクトを完了する

ビデオを Toast に読み込んだ後、次のような操作を行います：

- **他のコンテンツをビデオプロジェクトに追加する**：詳しくは 82 ページの「ビデオまたはスライドショーをビデオディスクに追加する」をご覧ください。
- **ビデオまたはスライドショーを編集する**：詳しくは 86 ページの「ビデオコンテンツ領域のビデオファイルを編集する」、または 88 ページの「ビデオコンテンツ領域のスライドショーを編集する」をご覧ください。
- **ビデオディスクを書き込む**：詳しくは 91 ページの「ビデオディスクを書き込む」をご覧ください。

ビデオ機能を使用する

本章の内容

- ビデオを既存のビデオディスクから書き出す 102
- ビデオディスクのメニューを作成する、しないを切り替える 102
 - ビデオディスクをコピーする 103
 - Motion Pictures を使用する 103
- 高度なビデオディスクを作成する 104

ビデオを既存のビデオディスクから書き出す

ビデオを既存のビデオディスクからハードディスクに書き出します。

ビデオをハードディスクに書き出すには：

- 1 [ビデオ] タブを表示した状態で、ドライブにビデオディスクを挿入します。
- 2 デスクトップにディスクのアイコンが表示されたら、次のいずれかの操作を行います：
 - ディスクからすべてのビデオファイルを書き出すには、ディスクのアイコンをビデオコンテンツ領域にドラッグします。
ディスク上のすべてのコンテンツが、ビデオコンテンツ領域に表示されます。
 - 選択したビデオを書き出すには、ビデオディスクを開きディスクのアイコンをダブルクリックします。表示されたウィンドウ内で [VIDEO_TS] フォルダを選択し、ビデオコンテンツ領域にドラッグします。
有効なファイルがビデオコンテンツ領域に現われます。
- 3 [書き出し] ボタンをクリックします (または [ディスク] メニューから [ビデオ書き出し転送] を選択)。
[保存名] ダイアログが現れ、[別名で保存] 欄に最初に選択したファイルの名前が表示されます。
- 4 [別名で保存] 欄に別の名前を入力して、最初に書き出すビデオファイルに新しい名前を付けることもできます。(最初にハードディスクに書き出されるファイルのみ新しい名前になります。)
- 5 [場所] ポップアップメニューから、ハードディスク内のファイルの保存場所を指定します。

ビデオディスクのメニューを作成する、 しないを切り替える

DVD メニューや VCD メニューを作成するかしないか指定することができます。メニューを作成しなかった場合、そのビデオディスクを再生すると、ディスク上の最初のビデオまたはスライドショーが自動的に再生されます。

メニューやボタンを作成する、しないを切り替えるには：

- 1 [ビデオ] タブでディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) をクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で [高度な設定] をクリックします。
- 3 ビデオディスクにボタン付きのメニューを作成するかどうか指定します：
 - ビデオディスク上の最初のビデオまたはスライドショーを、メニューを表示せずに直ちに再生する場合は、[DVD メニューを作成] もしくは [VCD メニューを作成] チェックボックスをオフにします。
 - ビデオディスクにボタン付きのメニューを作成する場合は、[DVD メニューを作成] もしくは [VCD メニューを作成] チェックボックスがオンになっていることを確認してください。

ビデオディスクをコピーする

他のシングルセッションディスクと同様に、ビデオディスクをコピーできます。詳しくは 108 ページの「ディスクコピーの概要」をご覧ください。

Motion Pictures を使用する



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

Motion Pictures は、ハリウッド流のパン撮りやズーム効果、クロスフェード、さらにサウンドトラックを使って、静止写真からメディアショーを作ることができるソフトウェアです。

Motion Pictures は、Toast により自動的にインストールされます。

Motion Pictures を起動するには：

- Motion Pictures アイコンをダブルクリックします。

テキストを検索してヘルプを見るには：

- Motion Pictures の [ヘルプ] メニューから [Motion Pictures ヘルプ] を選択します。

高度なビデオディスクを作成する



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

- **データコンテンツを含むビデオディスク：** ビデオやスライドショーと共にエンハンスドデータコンテンツを含むビデオディスクを作成します。ディスクのビデオまたはスライドショーの部分は DVD プレーヤーで再生することができ、データコンテンツは Macintosh や PC で再生することができます。
- **DLT テープに書き込み：** 量産 DVD のマスターとして DVD 製作会社へ送ることができる DLT テープに書き込みを行います。DLT テープには、大量のデータを収録することができます。
- **VIDEO_TS フォルダから DVD ビデオを作成：** 事前にオーサリング済みのビデオコンテンツを含む VIDEO_TS フォルダを使用して DVD ビデオを作成します。

これらの機能についての詳しい情報については、Toast ヘルプを起動し、トピックリンクのリストをクリックして、必要なトピックをご覧ください。

コピー

13 ディスクをコピーする

107

ディスクをコピーする

本章の内容

- ディスクコピーの概要 108
- 1つのレコーダでディスクをコピーする 108
- 2つのドライブでディスクをコピーする 109
- イメージファイルをディスクにコピーする 110
- 高度なコピー機能を使う 111

ディスクコピーの概要

Toast を使ってシングルセッションディスクの正確なコピーを作ることができます。マルチセッションディスクをコピーする場合、この方法では最初のセッションのみがコピーされます。(シングルセッションディスクは、一度書き込みが終了したら“クローズ”されているため再度書き込みを行うことはできません。)

1つのレコーダしか搭載していなくても、ディスクをコピーすることができます。詳しくは 108 ページの「1つのレコーダでディスクをコピーする」、または 109 ページの「2つのドライブでディスクをコピーする」をご覧ください。

コピーできるディスクの種類

- オーディオ CD または MP3 ディスク
- iDVD™ または Toast ビデオディスク
- バックアップデータディスク
- Macintosh 用のシングルセッションディスク
- Windows 用のシングルセッションディスク
- 一般的なクロスプラットフォームディスク (Macintosh と Windows で読めるもので、Macintosh ユーザと Windows ユーザはお互いのデータを見ることができます。)



メモ： クロスプラットフォームハイブリッドディスクのコピーについての情報は、111 ページの「高度なコピー機能を使う」をご覧ください。

1つのレコーダでディスクをコピーする

使用しているドライブがレコーダ兼用であれば、1つのドライブだけでもディスクをコピーすることができます。



メモ： 一時的にソースディスクのコンテンツ全体を保存するため、ハードディスクには、十分な空き容量が必要となります。

1つのドライブでディスクをコピーするには：

- 1 [コピー] タブをクリックします。

コピーできるディスクが検出されると、ディスクのボリューム名がコピーコンテンツ領域に表示されます。表示されない場合は、コピーするディスクを挿入してください。

- 2 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 3 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにブランクディスクを挿入します。

ディスクがコピーされている間、進行状況がバーで表示されます。

2つのドライブでディスクをコピーする

2つのドライブがあり、そのうちの1つがレコーダであれば、直接ソースドライブから保存先ドライブにコピーできます。

2つのドライブでディスクをコピーするには：

- 1 [コピー]タブをクリックします。

コピーできるディスクが検出されると、ディスクのボリューム名がコピーコンテンツ領域に表示されます。

- 2 コピーするディスクが検出されない場合は、[コピー元]ポップアップメニューでディスクが挿入されているドライブを選択します。
- 3 まだ選択されていない場合は、保存先レコーダを選択します。
- 4 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 5 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにブランクディスクを挿入します。

ディスクがコピーされている間、進行状況がバーで表示されます。

イメージファイルをディスクにコピーする



メモ： この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

イメージファイルは、CD や DVD を作成するのに必要なすべてのデータおよびフォーマット情報を含んで、ハードディスクに保存される 1 つのファイルです。[コピー] タブの [ディスクイメージ] フォーマットを使って、イメージファイルをディスクに書き込むことができます。

ディスクイメージに日付を保存する

書き込みを始める前に、ディスクイメージに含まれているファイルの作成日と変更日を維持するかどうかを指定します。日付が重要な場合は、マウントする前にイメージファイルをロックします。ロックしない場合、書き込み日が変更日と見なされます。

- 1 デスクトップ上でイメージファイルのアイコンを選択します。
- 2 [ファイル] メニューから [情報を見る] を選択します。
情報ウインドウが表示されます。
- 3 情報ウインドウの一般情報を表示させた状態で、[ロック] チェックボックスをオンにします。
ウインドウを閉じると、イメージファイルのアイコンに小さい南京錠が表示されます。

イメージファイルからディスクを作成する

イメージファイルからディスクを作成するには：

- 1 [コピー] タブをクリックし、次にディスクオプションボタン (あるいはディスクのフォーマット名が表示されている部分) ををクリックします。
ディスクオプション設定画面が表示されます。
- 2 ディスクオプション設定画面で [イメージファイル] を選択します。
- 3 以下のいずれかの操作を行います。

- イメージファイルのアイコンをデスクトップからコピーコンテンツ領域にドラッグします。
- [選択...] ボタンをクリックします。[開く] ダイアログでイメージファイルを選択し、[開く] をクリックします。

コピーコンテンツ領域にイメージファイルが表示されます。
[マウント] ボタンでディスクイメージをマウントすることもできます。

- 4 赤い書き込みボタンをクリックします。
- 5 画面の指示に従って、現在選択されているレコーダにディスクを挿入します。

イメージファイルからディスクが作成されている間、進行状況がバーで表示されます。

高度なコピー機能を使う



メモ：この機能は Toast Titanium でのみ使用することができます。詳しい情報や製品の購入に関しては、http://www.roxio.com/adban/product_redirects/toast6/product_jp.jhtml をご覧ください。

[コピー] タブのディスクオプション設定画面には、以下の種類のディスクを作成できる高度な機能が含まれています：

- **Bin/Cue ファイル**：ディスクを Bin および Cue のイメージファイルペアから作成します。
- **マルチトラック CD-ROM XA**：ワンセッションで複数の CD-ROM XA トラックをもつ CD を書き込みます。
- **CD-i ディスク**：CD-i コンピュータシステムで読み込めるディスクを作成します。

これらの機能についての詳しい情報を見るには、Toast ヘルプを起動し、トピックリンクのリストをクリックして、必要なトピックをご覧ください。

索引

128 ビット暗号化 45
2つのファイルまたはフォルダを比較する 30

B

Bin Cue コピー 111

C

CD

VCD フォーマット 81
スーパービデオ CD フォーマット 81
CD Spin Doctor 73
CD-i 111
CD-TEXT 54

D

DAO 15
Deja Vu 47
DLT テープ 104
DV テープ
キュー 98
DV テープのキュー 98

DVD 81

DV カメラ

コンピュータに接続 97
ビデオを読み込む 98

F

Firewire ケーブル 97

I

iMovie 84

iPhoto から写真またはスライドショーを読み込む 85

ISO 9660 データディスク 47

iTunes

オーディオ CD ヘファイルを追加する 56
オーディオを書き出す 71

M

Mac & PC データディスク 37

Mac Only データディスク 37、44

Mac OS 8.1 以降 44

Mac OS X 4

Mac ボリュームデータディスク 48

MP3 ディスク

- MP3 フォーマットを選択する 64
- 開始する 63
- 書き込み 67
- 項目の名前を変更する 66
- 項目を削除する 66
- 項目を整理する 66
- 新規フォルダを作成する 65
- 定義 62
- ハードディスクから追加する 64
- ファイルまたはフォルダを追加する 64
- ファイルやフォルダを処理する 65
- 利点 62

MP3 ファイルをエンコードする 62

MP3 フォーマット、選択する 64

N

NTSC 81

P

PAL 81

Plug & Burn 83

- クイック Plug & Burn 95
- 使用方法 94
- 定義 94
- 他の使用方法 96

Q

QuickTime 4、52

- QT ビデオファイルからオーディオを書き出す 71

S

SVCD 81

T

TAO 15

Toast

- Toast について 4
- 使用方法の概要 12
- ビデオを読み込む 83
- ヘルプへアクセスする 4

Toast It 20

- データディスクの作成に使用する 39

Toast プロジェクト

- イメージファイルに保存する 27
- 開く 16
- 保存する 16

Toast メインウィンドウ 5

Toast をインストールする 5

ToastAnywhere 18

U

UDF データディスク 47

V

VCD 81

VIDEO_TS フォルダ 104

あ

空き容量インジケータ 7

い

イメージファイル 27

- コピーする 110
- 作成する理由 27
- ディスクを作成する 110
- データを保護する 110
- デスクトップにマウントする 28
- プロパティ 27

イメージファイルをマウントする 28

インターネットトラックネーミングデータベース 57

ファイルを追加する (オーディオ CD から) 55

ファイルを追加する (ハードディスク から) 55

オーディオ CD フォーマット、選択する 54

オーディオタブ 6、12

オーディオファイル

iTunes から書き出す 71

QuickTime ビデオファイルから書き出す 71

オーディオ CD から削除する 58

オーディオ CD から書き出す 70

オーディオ CD で再生する 57

トラック情報を入力する 57

え

エンコーディング 81

エンハンストオーディオ CD 73

お

オーディオ CD 52

- オーディオ CD フォーマットを選択する 54
- オーディオファイルを再生する 57
- オーディオファイルを削除する 58
- オーディオを書き出す 70
- 開始する 53
- 書き込み 60
- 再生コントロールを使用する 57
- 作成する利点 52
- 情報を表示または編集する 58
- 定義 52
- トラックの順番を変更する 56
- トラック情報を自動的に入力 57
- ファイル进行处理する 56
- ファイルを追加する 54
- ファイルを追加する (iTunes から) 56

か

開始する

MP3 ディスク 63

オーディオ CD 53

ビデオディスク 80

データディスク 37

書換可能ディスク

消去する 21

書き込み

MP3 ディスク 67

オーディオ CD 60

書き込まずにシミュレートする 14

検証 14

ディスクタイプ 12

データディスク 41

バッファアンダーラン 14

ビデオディスク 91

モード 15

レコーダ設定を表示する 15

書き込み速度 13

書き込みボタン 5、7

書き出す

iTunes からのオーディオ 71

QuickTime ビデオからのオーディオ 71

オーディオ CD からのオーディオ 70
ビデオディスクのビデオ 102
カスタムハイブリッド データディスク 47
カセットテープ、デジタル化 73

き

共有、レコーダを他の Toast ユーザと 18

く

詳しい情報

見るには 4

け

検証 14

こ

高度なオーディオディスクフォーマット 73
高度なコピーフォーマット 111
高度なデータディスクフォーマット 47
高度なビデオディスクフォーマット 104
互換性

メディアと再生デバイス 9

メディアとレコーダ 9

コピーする

1 つのドライブ 108

2 つのドライブ 109

BIN CUE イメージ 111

CD-i ディスク 111

イメージファイルからディスクに 110

概要 108

ディスク 108

データディスク 46

マルチトラック CD-ROM XA 111

コピータブ 6、12

コピー枚数 14

コンテンツ

オーディオ CD に追加する 54

データディスクに追加する 38

ビデオディスクに追加する 82

コンテンツ領域 5、7

消去する 16

デスクトップからファイルを送信する 20

ファイルを追加する 12

さ

再生コントロール 57

再生デバイス

メディアとの互換性 9

削除する

MP3 ディスク内のファイルまたは
フォルダ 66

オーディオ CD から 58

データディスク内のファイルまたはディス
ク 40

作成する

高度なデータディスク 47

データディスク 36

し

システム要件 4

シミュレーションモード 14

写真

iPhoto からビデオディスクに追加する 85

スライドショーに追加する 85

ハードディスクからビデオに追加する 84

ビデオディスクにオリジナルを含む 82

順番を変更する

オーディオ CD のトラック 56

スライドショー 90

ビデオファイル 90

す

スーパービデオ CD 81**スライドショー 78**

- iPhoto からビデオディスクに追加する 85
- 情報を表示する 90
- 並び替える 90
- ハードディスクからビデオに追加する 84
- 編集する 88
- メニューボタンを設定 88

せ

セッション

- 複数書き込む 26

接続

- DV カメラからコンピュータへ 97

設定する

- データディスク 37
- ビデオディスク 80
- 変更する 12

つ

追加する

- iMovie プロジェクトをビデオディスクへ 84
- 写真を (iPhoto から) ビデオディスクに追加する 85
- 写真をハードディスクからビデオに追加する 84
- スライドショーを iPhoto からビデオディスクに 85
- スライドショーを (ハードディスクから) ビデオに 84
- ビデオを (ハードディスクから) ビデオディスクに 83
- ファイルやフォルダをデータディスクに 38

- ファイルを (オーディオ CD から) オーディオ CD へ 55
- ファイルを (ハードディスクから) オーディオ CD へ 55
- ファイルを MP3 ディスクへ (ハードディスクから) 64
- ファイルをオーディオ CD へ (iTunes から) 56
- ファイルまたはフォルダを MP3 ディスクへ 64

て

ディスク 40、66

- MP3 ディスクで名前を変更する 66
- 圧縮する 44
- クローズする 14
- コピーする 108
- 作成の概要 12
- 消去する 21
- タイプを選択する 9
- データディスク用に名前を変更する 40
- 取り出す 21
- マルチセッション 26

ディスクオプション設定画面 5、8**ディスクオプション設定ボタン 9****ディスクタブ 5、6****ディスクをクローズする 14****ディスクを圧縮する 44****ディスクを取り出す 21****ディスク空き容量, 測定する 8****データタブ 6、12****データディスク**

- Mac & PC フォーマット 37
- Mac Only フォーマット 37
- Mac OS 用に設定する 44
- 圧縮 44
- 開始する 37
- 概要 36
- 書き込み 41

- 書き込み後の検証 14
- 高度な 47
- 項目を削除する 40
- 項目を整理する 40
- コピーする 46
- 作成する理由 36
- 設定を変更する 37
- 定義 36
- デクリプトする 46
- ファイルまたはフォルダを追加する 38
- ファイルやフォルダを処理する 39
- 暗号化 45
- 新規フォルダを作成する 39
- データディスク項目の名前を変更する** 40
- データディスクをデクリプトする** 46
- データディスクを暗号化する** 45
- デジタルビデオ**
 - 必要なハードディスク空き容量 4
 - 読み込み 98
- デスクトップ**
 - イメージファイルをマウントする 28
 - ファイルを Toast へ送信する 20
- テレビ規格** 81
- テンポラリパーティション** 28
- テンポラリパーティション、作成する** 28

と

- トラック、オーディオ CD での順番を変更する** 56

な

名前を変更する

- MP3 ディスク内のファイルまたはフォルダ 66
- データディスク内のファイルまたはディスク 40

ね

ネットワーク

- レコーダを共有する 18

は

ハードディスク容量

- デジタルビデオのエンコーディングに必要 4

- Toast のインストールに必要な 4

バックアップ

- 定期的に行う 47

バッファアンダーラン

- バッファアンダーランを防止する 14

ひ

必要な環境

- システム 4

- レコーダ 4

ビデオ

- DV カメラから Toast に読み込む 98

- 既存のディスクから書き出す 102

- 情報を表示する 90

- トリミング 86

- 並び替える 90

- ハードディスクから追加する 83

ビデオ CD 81

ビデオタブ 6、12

ビデオディスク

- DVD フォーマット 81

- iMovie プロジェクトを追加する 84

- エンコーディング 81

- オリジナル写真を含む 82

- 開始する 80

- 書き込み 91

コンテンツに作業する 90
 コンテンツを加える 82
 写真を iPhoto から追加する 85
 設定を変更する 80
 定義 78
 テレビで再生する 78
 テレビ規格 81
 ハードディスクから追加する 83
 ビデオを書き出す 102
 次に Enhanced コンテンツを追加する 104
 写真をハードディスクから追加する 84

ビデオのトリミング 86

ビデオメニュー

オンまたはオフにする 102

ビデオを DV カメラから読み込む 83、98

開く

Toast プロジェクト 16

ふ

ファイル

MP3 ディスクで名前を変更する 66
 MP3 ディスクに追加する 64
 MP3 ディスクを処理する 65
 オーディオ CD に追加する 54
 オーディオ CD を処理する 56
 データディスクに追加する 38
 データディスクを処理する 39
 ビデオディスクでスライドショーを編集する 88
 ビデオディスクに追加する 82
 ビデオディスクのビデオファイルを編集する 86

ファイルやフォルダを削除する 40、66

フォルダ

2つのコンテンツを比較する 30
 MP3 ディスクで名前を変更する 66
 MP3 ディスクに追加する 64
 MP3 ディスクを作成する 65

MP3 ディスクを処理する 65
 オーディオ CD に追加する 54
 データディスクに作成 39
 データディスクに追加する 38
 データディスクを処理する 39

へ

ヘルプ

使用方法 4
 ヘルプへアクセスする 4

編集する

オーディオ CD 情報 58
 スライドショーの情報 90
 ビデオ 86
 ビデオの情報 90

ほ

保存する

Toast プロジェクト 16
 プロジェクトをイメージファイルに 27

ま

マルチセッションディスク 26

マルチトラック CD-ROM XA 111

み

ミックスモード CD 73

め

メディア

- 互換性 9
- 選択する 9

メディアを選択する 52

メニュー 78

メニューボタン 78

- スライドショーの設定 88

メニューボタン、設定画像 87

れ

レコーダ

- 1つのドライブでコピーする 108
- 2つのドライブでコピーする 109
- 書き込まずにシミュレートする 14
- 書き込み後の処理 14
- 書き込み速度を選択 13
- 共有する 18
- 作成するコピー枚数を選択する 14
- セットアップ 9
- 説明 15
- 選択する（複数ある場合）12
- ディスクをクローズする 14
- ディスクを取り出す 21
- 必要なシステム環境 4
- メディアとの互換性 9

レコーダオプションボタン 8

レコーダ設定

- 自動的に表示する 15
- 変更する 13

レコーダ名 8

レコードやカセットテープをデジタル化する 73

レコード、デジタル化 73